

# SHARP®

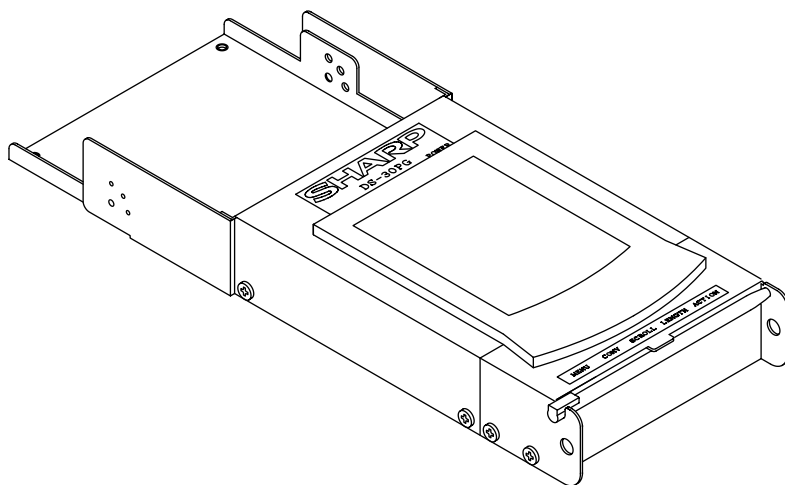
改訂1.1版  
2002年5月作成

IDプレートシステム  
**サテライトID**

形名

ハンディリーダー **DS-30PG**

## 取扱説明書



このたびは、マイクロ波 I D プレートシステム用ハンディ リーダライタ DS-30PG をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

本書は、DS-30PG のシステム構成・操作方法等について説明しています。

ご使用前に、本書をよくお読みいただき、機能等を十分に理解してご使用ください。

なお、マイクロ波 I D プレートシステムの機能については、I D コントロールユニット・I D コントローラのマニュアル(下記)を参照願います。

- ・ JW-22DU(マイクロ波 I D プレートシステム) —— ユーザーズマニュアル
- ・ JW-12DU(マイクロ波 I D プレートシステム) —— ユーザーズマニュアル
- ・ DS-30D(マイクロ波 I D プレートシステム) —— ユーザーズマニュアル
- ・ JW-21DU —— ユーザーズマニュアル
- ・ JW-11DU —— 取扱説明書

- 本書で記載の IBM、WorkPad は IBM Corporation の米国およびその他の国における商標です。  
また、本書のスクリーン キーボードと Graffiti 入力の説明は、IBM Corporation の「WorkPad c3 ユーザーズ・リファレンス」の下記項目より引用しております。
- ・ スクリーンキーボードの使用
  - ・ Graffiti ソフトウェアを使ったデータの入力

### おねがい

- ・ 本書の内容については十分注意して作成しておりますが、万一ご不審な点、お気付きのことがありましたらお買いあげの販売店、あるいは当社までご連絡ください。
- ・ 本書の内容の一部または全部を、無断で複製することを禁止しています。
- ・ 本書の内容は、改良のため予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

# 安 全 上 の ご 注 意

取付、運転、保守・点検の前に必ずこの取扱説明書とその他の付属書類をすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

**⚠ 危険**：取扱を誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。

**⚠ 注意**：取扱を誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、**⚠ 注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

## (1) 取付について

<b>⚠ 注意</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・カタログ、取扱説明書に記載の環境で使用してください。 高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃がある環境で使用すると感電、火災、誤動作の原因となります。</li><li>・取扱説明書に従って取り付けてください。 取付に不備があると落下、故障、誤動作の原因となることがあります。</li><li>・電線くずなどの異物を入れないでください。 火災、故障、誤動作の原因となることがあります。</li></ul>

## (2) 接続について

<b>⚠ 注意</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・DS-30PG本体へのアンテナの接続は、DS-30PG本体の電源をOFFしてから行ってください。 誤動作、故障の原因になります。</li></ul>

## (3) 充電について

<b>⚠ 危険</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・DS-30PG本体への充電は、DS-30PGに付属の充電器を使用してください。他の充電器を使用すると、発熱・破裂の原因となります。</li></ul>

## (4) 保守について

<b>⚠ 危険</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・DS-30PG本体は、リチウム電池とニッケル水素電池を内蔵しており、正しく使用または廃棄されないと、発熱・破裂・爆発の原因となります。 よって、DS-30PG本体を<ol style="list-style-type: none"><li>1. 水の中に捨てたり、沈めたりしないでください。</li><li>2. 100℃以上に暖めないでください。</li><li>3. ごみ廃棄場で処分されるゴミの中に捨てないでください。</li></ol>廃棄にあたっては、地方自治体のリチウム電池・ニッケル水素電池の廃棄に関する条例または規則に従ってください。</li></ul>

<b>🚫 禁止</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・分解、改造はしないでください。 火災、故障、誤動作の原因となります。</li></ul>

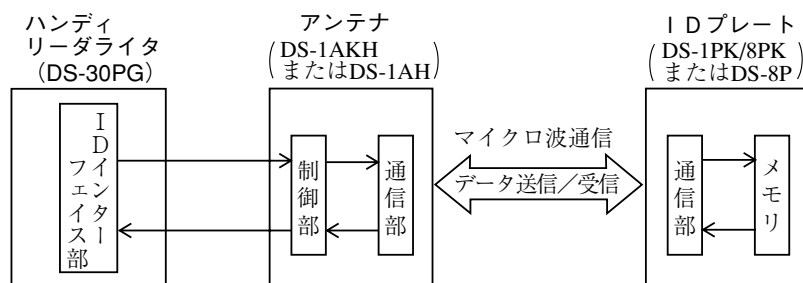
# 目次

第1章 概要	1・1
第2章 使用上のご注意	2・1
第3章 システム構成	3・1
第4章 各部のなまえとはたらき	4・1～3
〔1〕 DS-30PG 本体	4・1
〔2〕 アンテナ(DS-1AH/1AKH)	4・3
第5章 取付方法	5・1～3
〔1〕 アンテナの取付	5・1
〔2〕 ベルトの取付	5・3
第6章 使用方法	6・1～39
6-1 充電方法	6・1
6-2 操作機能	6・2
6-3 DS-1PK/8PK を使用時の操作方法	6・4
〔1〕 初期画面	6・4
〔2〕 キー・ボタン操作	6・4
〔3〕 データ表示機能	6・5
(1) プレート R/W	6・6
(2) IDコード R/W	6・10
(3) IDインターフェイス R/W	6・10
〔4〕 マニュアル実行	6・11
(1) 読出し	6・12
(2) 書込み	6・13
(3) クリア	6・14
(4) コピー	6・15
(5) 診断	6・16
〔5〕 登録機能	6・19
(1) 登録の操作手順	6・20
(2) コメント入力	6・22
〔6〕 オプション機能	6・27
〔7〕 オートパワーオフ機能	6・27
〔8〕 日付・時刻の設定	6・28
6-4 DS-8P を使用時の操作方法	6・29
〔1〕 データ表示機能	6・29
〔2〕 マニュアル実行機能	6・29
〔3〕 登録機能	6・29
〔4〕 オプション機能、オートパワーオフ機能、日付・時刻の設定	6・29
6-5 IDプレート、DS-30PG のメモリ	6・30
〔1〕 IDプレート(DS-1PK/8PK)のメモリ	6・30
〔2〕 IDプレート(DS-8P)のメモリ	6・34
〔3〕 DS-30PG(IDインターフェイス部)のメモリ	6・36
第7章 異常と対策	7・1～2
〔1〕 エラーコード	7・1
〔2〕 その他のエラー	7・2
第8章 仕様	8・1～2
〔1〕 DS-30PG 本体	8・1
〔2〕 アンテナ(DS-1AH/DS-1AKH)	8・2

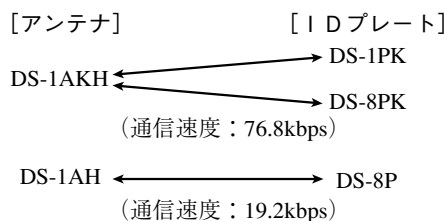
# 第 1 章 概 要

マイクロ波 I D プレートシステム用ハンディリーダーダライタ DS-30PG は内蔵電池で動作し、アンテナ (DS-1AKH または DS-1AH) を接続して現場へ持ち運んで、I D プレート (DS-1PK/8PK または DS-8P) と通信するツールです。

DS-30PG を使用すると、FA の現場保全や物流システムなどで I D プレートシステムの利用が容易になります。従来の DS-20PG に比べ動作速度が速く、電池寿命も約 2 倍に向上しています。



- ・ DS-30PG 本体に実装するアンテナを取り替えることにより、当社製 I D プレートすべてに対応できます。



なお、アンテナ (DS-1AH/1AKH) は別売品です。

- ・ I D プレートおよび DS-30PG のメモリアドレスを、スクロール (SCROLL) ボタンによりワンタッチで連続表示できます。
- ・ アドレス、文字等の設定はタッチキー (数値キー、キーボード) の操作で行います。コメント (登録機能) には、漢字を入力できます。
- ・ 登録機能では、I D プレートの常に使用するアドレスとバイト数を登録しておくこと、一つのキーを操作するだけで I D プレートと通信してデータを表示できます。
- ・ 内蔵電池は満充電の状態にて、I D プレートと約 2 時間、連続通信を行えます。充電時間は完全放電状態から約 4 時間です。

## 第 2 章 使用上のご注意

DS-30PGを使用するにあたり、下記事項に注意願います。

### (1) 法規則について

当社の I D プレートシステムは、電波法第 3 条および電波法施行規則14条で規定された「構内無線局移動体識別装置」に基づき設計、製作しています。従って、I D プレートシステムをご使用になるときは、免許申請が必要です。

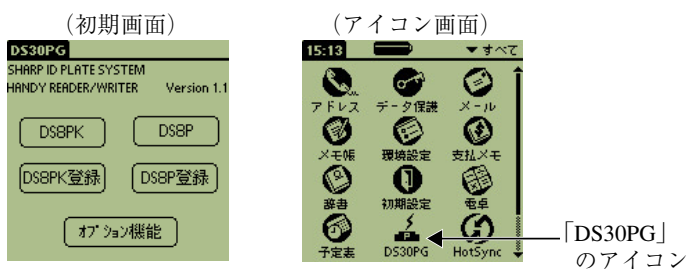
I D プレートシステムを無免許で使用したり、改造すると、違法行為となりますので注意願います。免許申請手続きに関しては、JW-12DU/DS-30D等のユーザーズマニュアルを参照願います。

### (2) 静電気について

異常に乾燥した場所では、人体に過大な静電気が発生するおそれがあります。静電気により、DS-30PG本体内部(基板)に実装している部品が破壊することがあります。DS-30PG本体に触れるときは、アースされた金属等に触れてあらかじめ人体に発生した静電気を放電させてください。また、本体表示部のボタン(POWER,MENU,CONV,SCROLL,LENGHT,ACTION)は、DS-30PGの動作中に静電気が印加されると、通信が停止することがあります。この場合には「キャンセル」キー(各画面のタッチキー)を押して、再度通信させれば正常に復旧します。

### (3) 操作について

- ・表示画面部(DS-30PG本体)の操作には、必ずDS-30PGに付属のスタイラスを使用してください。スタイラス以外の物(先端のとがった物など)で操作しないでください。故障の原因になります。
- ・DS-30PG本体の電源スイッチをONすると通常は初期画面が表示されますが、アイコン画面が表示された場合(DS-30PGの充電後など)には、「DS30PG」のアイコンをタップすると初期画面が表示されます。



### (4) 電池寿命について

DS-30PG本体には、I D プレートシステム用のニッケル水素電池(二次電池)、表示用のリチウムイオン電池を内蔵しています。

DS-30PG本体の電池が消耗すると、「本体電池電圧低下」等の警告が表示されます。この警告が表示されたら、すみやかに充電器(付属品)を使用して、DS-30PG本体の電池を充電してください。⇒6・1ページ参照

### (5) 清掃について

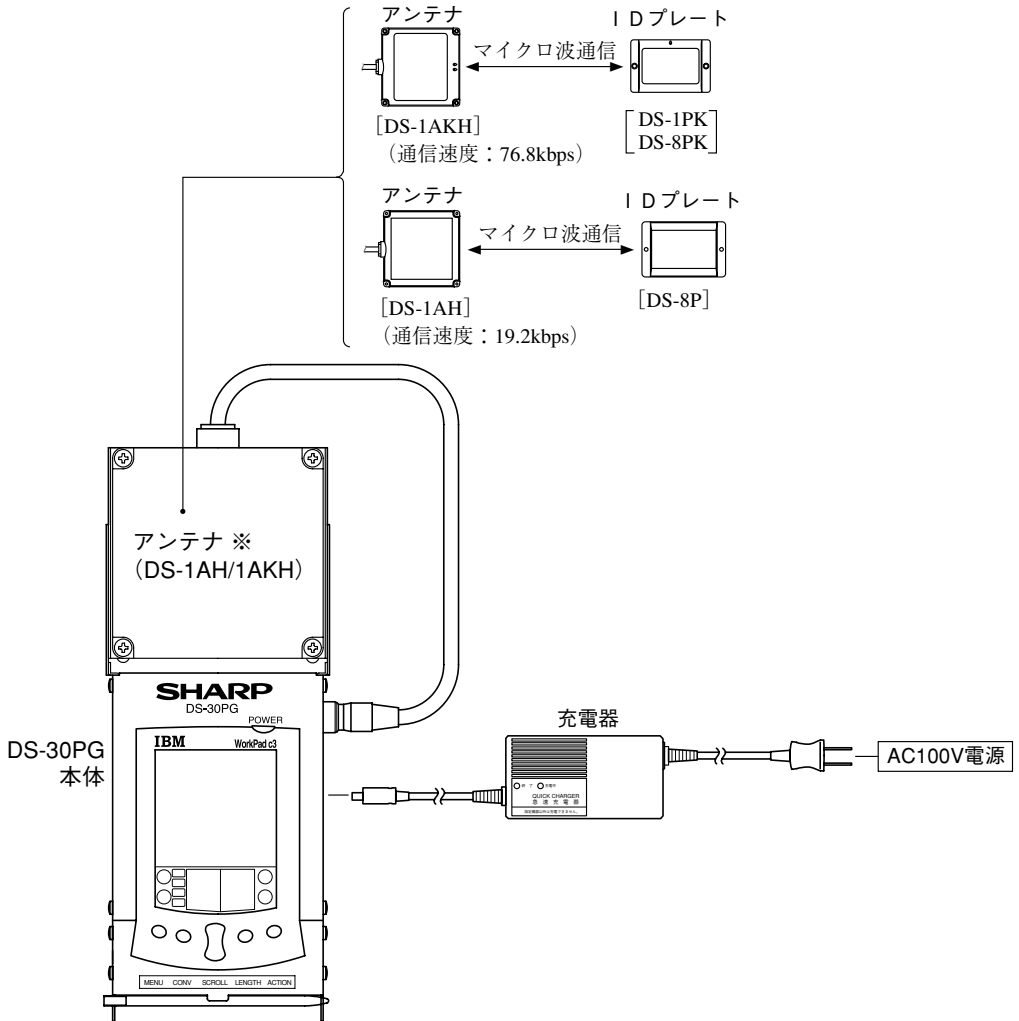
DS-30PGを清掃するときは、乾いたやわらかい布を使用してください。揮発性(アルコール、シンナー、フロン類等)のものや、ぬれぞうきんなどを使用されると変形・変色などの原因になります。

### (6) 保存について

DS-30PG本体の上に物などをのせないでください。故障の原因になります。

### (7) ノイズについて

携帯電話を含む無線機等のノイズ発生源からは、300mm以上離して操作してください。



※ DS-30PG本体に実装するアンテナ(DS-1AH/1AKH)は別売品です。

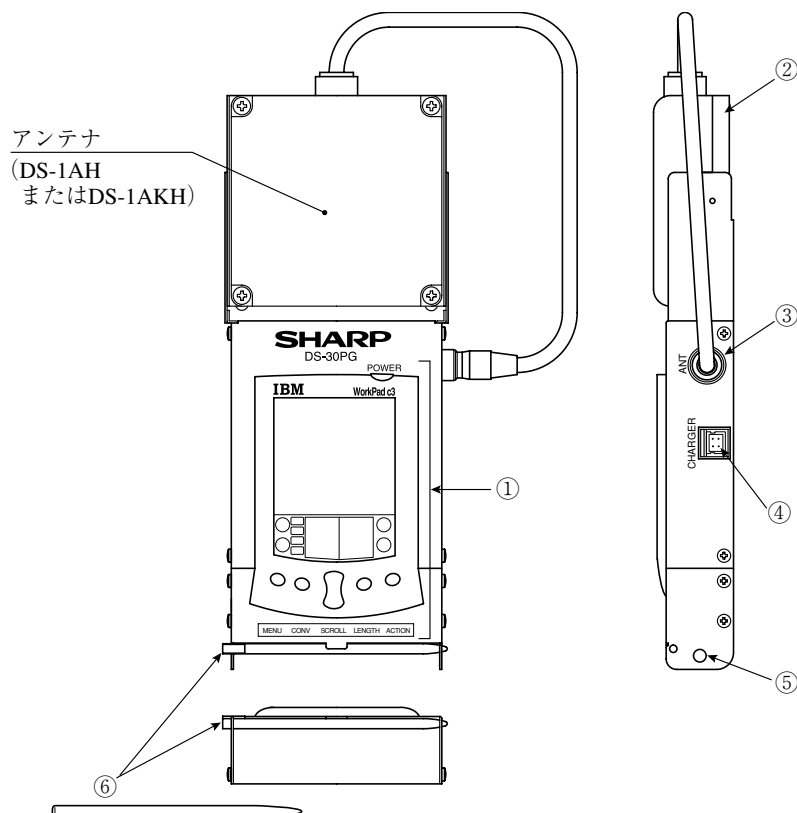
### ■ DS-30PGの構成品

	DS-30PG本体 1台
付属品	・充電器 1個
	・ベルト 1本
	・スタイラス 1本
	・ビス 4本
	・取扱説明書 1冊

## 第 4 章 各部のなまえとはたらき

### 〔1〕 DS-30PG本体

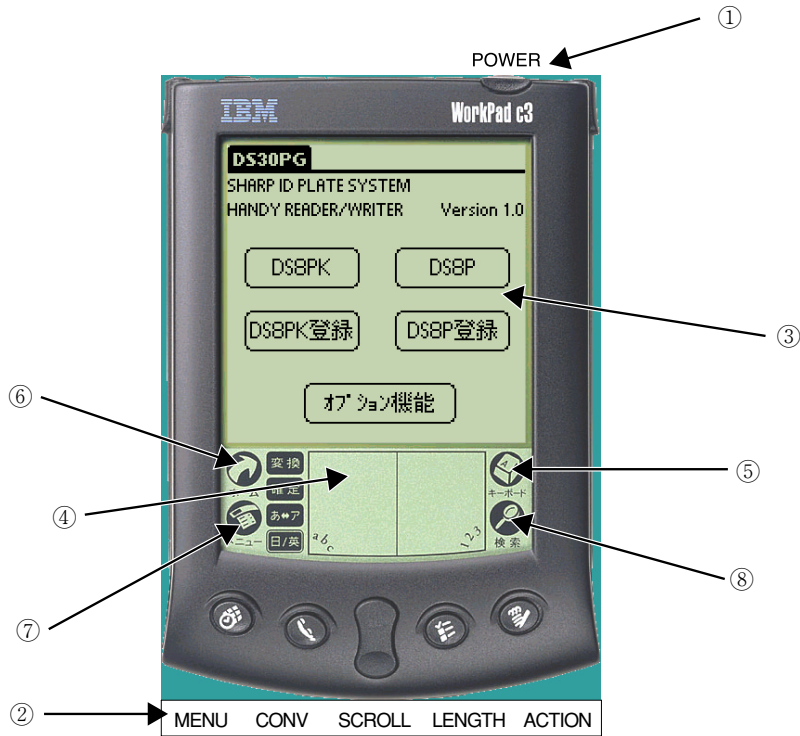
DS-30PG本体に、アンテナDS-1AH/1AKH(別売)を実装した図で説明します。



	なまえ	はたらき
①	表示部	IDプレートのデータ読出、およびIDプレートへのデータ書込などの操作を行って、データを表示します。(詳細⇒次ページ)
②	アンテナアングル	アンテナ(DS-1AHまたはDS-1AKH:別売)を、ビス4本(付属品)で取り付けます。
③	アンテナ接続用コネクタ (ANT)	アンテナのケーブルを接続します。
④	充電器接続コネクタ (CHARGER)	DS-30PG本体に充電するときに、充電器(付属品)を接続します。 ・充電しないときは、カバー(出荷時実装)を取り付けてください。
⑤	ベルト取付穴	ベルト(付属品)を取り付けます。
⑥	スタイラス (プラスチック製)	表示部のキー入力、Graffiti入力に使用します。 なお、DS-30PG本体の上図の位置(出荷時実装)に保管できます。 ・スタイラス(金属製)1本も付属しています。ただし、DS-30PG本体に保管できません。



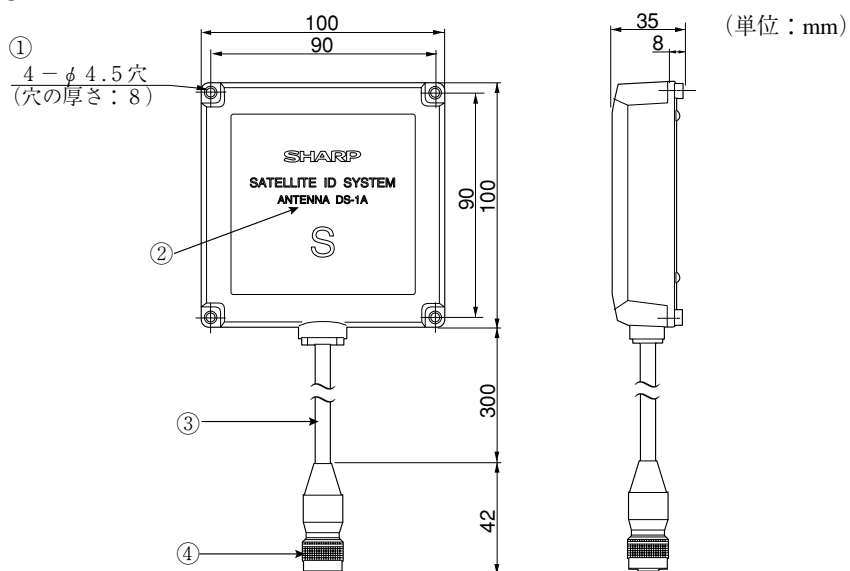
■ DS-30PG本体の表示部



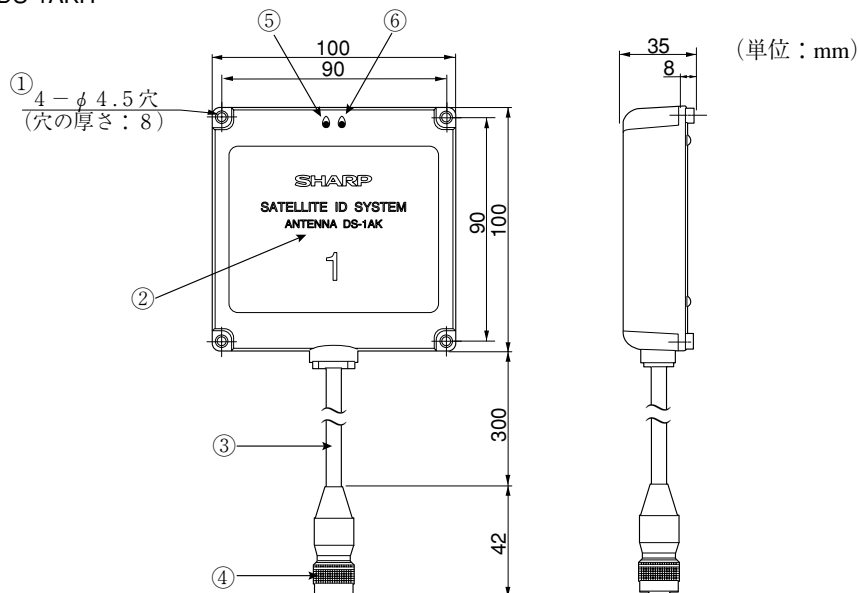
	なまえ	はたらき
①	電源 (POWER)	DS-30PG本体の表示部とインターフェイス部の電源です。
②	MENU(メニュー)ボタン	MENUボタンを押すと、初期画面(6・4ページ)に戻ります。
	CONV(コード変換)ボタン	表示データのコードが、CONVボタンを押すごとに、「HEX → OCT → DCM → BIN → ANK → HEX」と変換されます。
	SCROLL(スクロール)ボタン	データ表示機能にて、「IDプレートから読み出したデータ」および「IDインターフェイスのデータ」を表示しているとき、SCROLLボタンを押すとアドレスを増減できます。
	LENGTH(データ長変換)ボタン	表示データのデータ長が、LENGTHボタンを押すごとに、「1バイト → 2バイト → 4バイト → 8バイト → 1バイト」と変換されます。
	ACTION(実行)ボタン	マニュアル表示機能のとき、ACTIONボタンを押すと、設定内容を実行できます。
③	表示画面	データ表示、データ入力、機能選択のときにはタッチキーとなります。
④	Graffiti入力エリア	登録機能のコメント入力時に、漢字・文字を入力するエリアです。入力にはスタイラスを使用します。
⑤	キーボードキー	登録機能のコメントを、キーボードで入力時に使用します。
⑥	ホームキー	ホームキーを押すと、アイコンメニューに戻ります。DS-30PG機能を再び動作させるには、「DS-30PG」のアイコンをタップします。 ・タップとは、スタイラス(前ページ)を使って、DS-30PGの表示部(キー)を軽くたたくことです。
⑦	メニューキー	登録機能のコメントを編集時に使用します。
⑧	検索キー	未使用

## 〔2〕 アンテナ (DS-1AH/1AKH)

### ● DS-1AH



### ● DS-1AKH



	なまえ	はたらき
①	アンテナ取付穴	アンテナを、DS-30PG本体のアンテナアングルに取り付ける穴です。
②	通信面	IDプレートとマイクロ波で通信して、データの送信・受信を行います。
③	アンテナケーブル	DS-30PG用として、ケーブル長は300mmです。
④	アンテナコネクタ	DS-30PG本体のアンテナ接続用コネクタ (ANT) に接続します。
※	⑤ 動作表示灯 TX	アンテナが、IDプレートと送信・受信中に点滅します。
※	⑥ 動作表示灯 OK	アンテナ～IDプレート間の通信動作が終了時に点灯します。

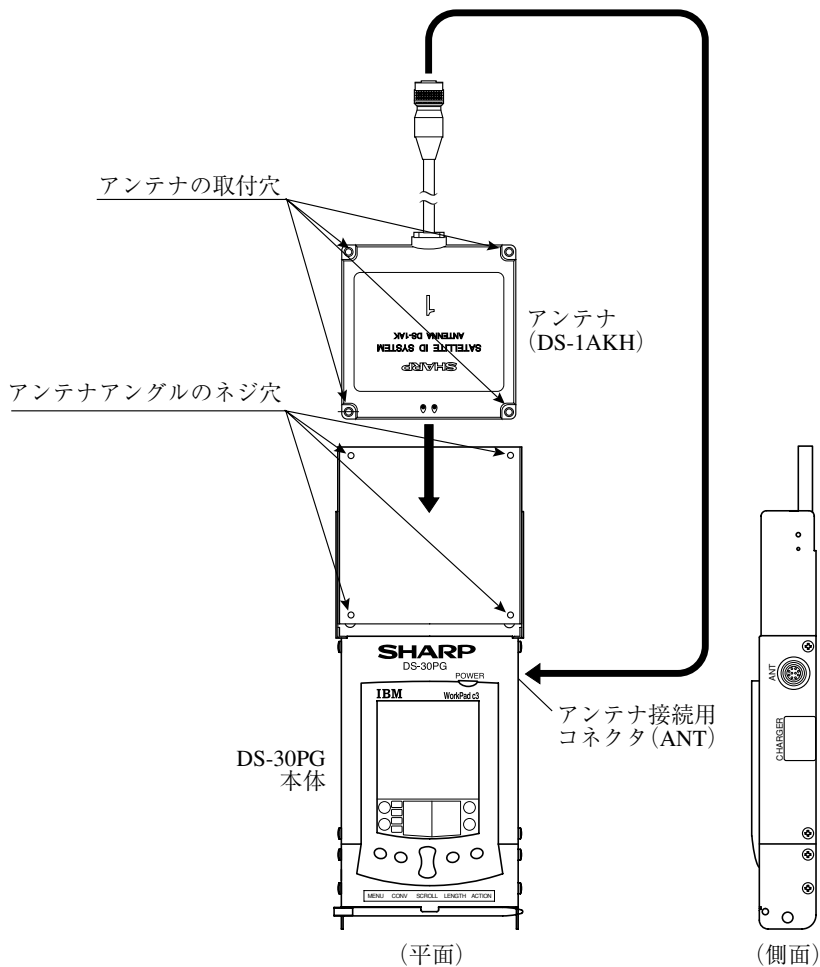
※ DS-1AKHのみ

## 第 5 章 取 付 方 法

### 〔1〕 アンテナの取付

DS-30PG本体に、アンテナDS-1AH/1AKH(別売)を取り付けます。

- ① DS-30PG本体のアンテナアングルにあるネジ穴(4ヶ)へ、アンテナの取付穴を、ビス4本(付属品)を使用して取り付けます。
- ② アンテナのコネクタを、DS-30PG本体のアンテナ接続用コネクタ(ANT)に接続します。

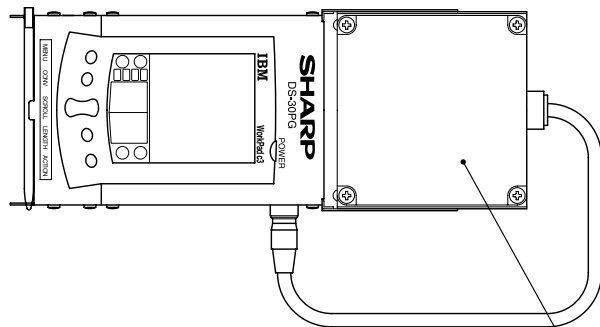


・上図はアンテナがDS-1AKHです。DS-1AHの取付も同様です。

## ■ アンテナの角度

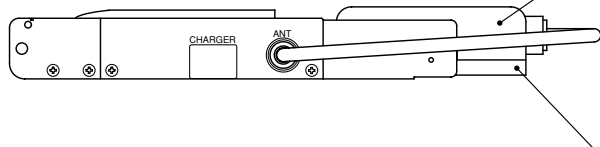
DS-30PG本体のアンテナアングルは0°、45°、90°、135°の角度に傾けて使用できます。

### ● 平面図

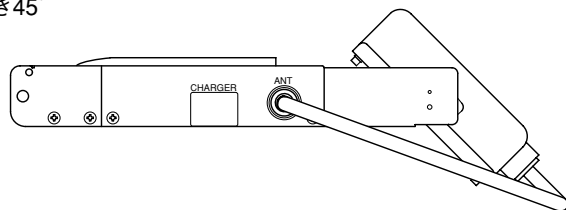


### ● 側面図

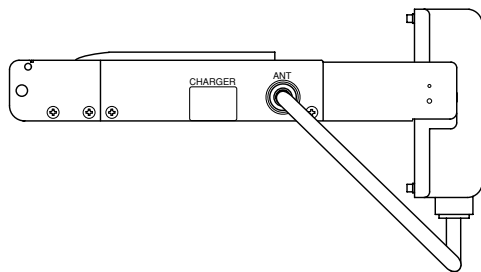
・ 傾き 0°



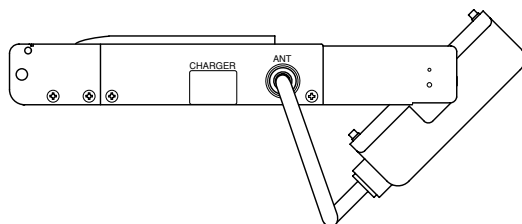
・ 傾き 45°



・ 傾き 90°

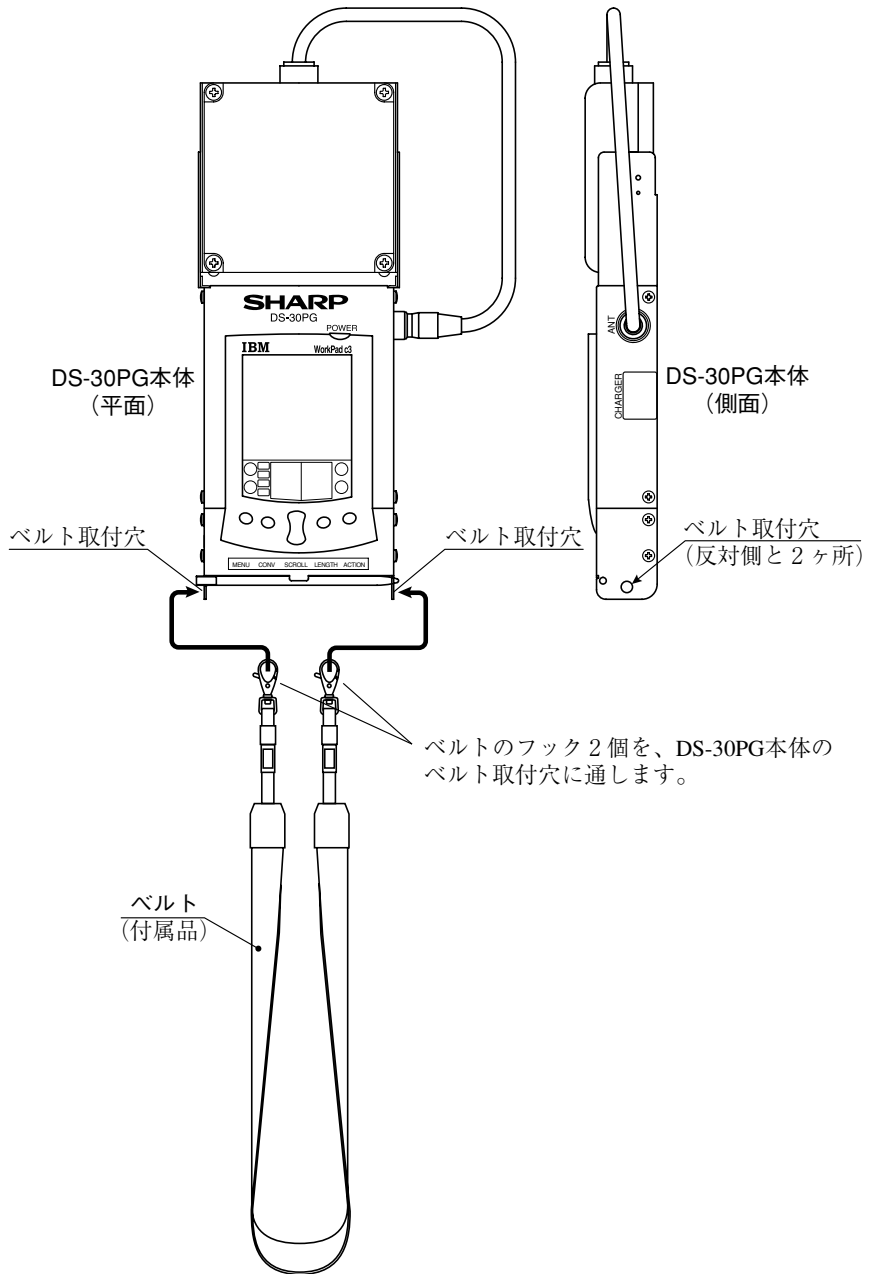


・ 傾き 135°



## 〔2〕ベルトの取付

ベルト(付属品)をDS-30PG本体に取り付けると、DS-30PG本体をキャリングするのに便利です。

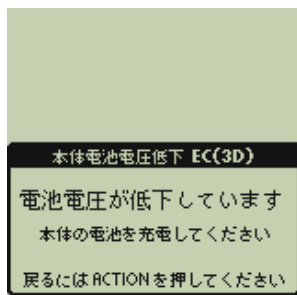


## 第 6 章 使用 方 法

### 6-1 充電方法

DS-30PGには、IDプレートシステム用のニッケル水素電池(二次電池)、表示用のリチウムイオン電池を内蔵しています。DS-30PGは満充電の状態にて、「IDプレート～アンテナ」通信を連続(常温)で約2時間以上、行えます。

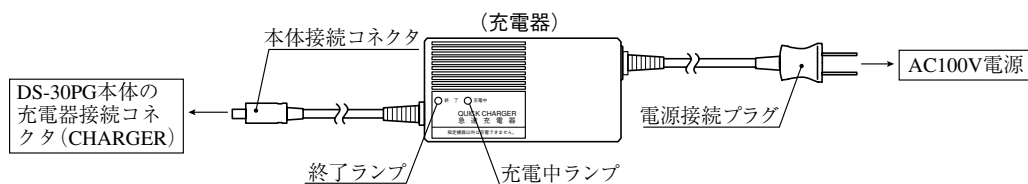
DS-30PGの電池が消耗すると、画面に何も表示されない、または電池の残量警告(下記)が表示されます。



このような場合には、すみやかに充電器(付属品)を使用して、DS-30PGの電池を充電してください。

#### ■ 充電方法

- ① DS-30PG本体の電源スイッチをOFFします。
- ② 充電器をAC100V、およびDS-30PG本体の充電器接続コネクタ(CHARGER)に接続します。



- ③ DS-30PGの電池に充電が開始され、充電器の充電中ランプが赤色で点灯します。
- ④ 充電が終了すると、充電中ランプは消灯し、終了ランプが緑色に点灯します。
  - ・ 充電に要する時間は、約4時間(最大)です。
  - ・ 充電中に異常が発生すると、充電中ランプが点滅(赤色)し、終了ランプが点灯(緑色)します。この場合、充電器の本体接続コネクタをDS-30PG本体からすみやかに外してください。
- ⑤ 充電後には、DS-30PG本体の電源スイッチをONすると、初期画面またはアイコン画面が表示されます。アイコン画面のときには、「DS30PG」のアイコンをタップして、初期画面にしてください。⇒2・1・6・4ページ参照

#### 留意点

- ・ 充電中(充電が終了するまで)は、充電器の本体接続コネクタをDS-30PG本体から抜かないでください。正常に充電できません。
- ・ DS-30PGが満充電の状態では充電しないでください。また、連続した繰り返し充電を行わないでください。このような充電を行うと、DS-30PGの電池が発熱します。
- ・ 充電中は、DS-30PGは動作しません(操作できません)。

## 6-2 操作機能

DS-30PGの操作にはデータ表示機能、マニュアル実行機能、登録機能、オプション機能があります。

項目	DS-1AKH(DS-1PK/8PK)を使用時	DS-1AH(DS-8P)を使用時
データ表示機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレートR/W</li> <li>・IDコードR/W</li> <li>・IDインターフェイスR/W</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレートR/W</li> <li>・IDコードR/W</li> </ul>
マニュアル実行機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読出し</li> <li>・書込み</li> <li>・クリア(クリア、プレート初期化)</li> <li>・コピー(同一アンテナコピー、 同一アンテナ照合付きコピー)</li> <li>・診断(自己診断、ROMチェック、 RAMチェック、ブロックチェック)</li> <li>・自己診断C</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリア</li> <li>・自己診断</li> <li>・ブロックチェック</li> </ul>
登録機能	登録番号1～4	登録番号1～4
オプション機能	メモリ初期化	

### (1) データ表示機能

IDプレート、DS-30PG(IDインターフェイス部)のメモリに格納されているデータを読み出し、書き換える機能です。

#### ① プレートR/W

IDプレートのデータを、指定した先頭アドレスから読み出します。

- ・SCROLLボタンでアドレスがシフトし、IDプレートのデータを連続で表示できます。

- ・データを書き換える場合は、書き換えるアドレスをタップします。1バイトづつ書き換え可能です。

#### ② IDコードR/W

IDプレートのIDコードを読み出し、書き換えます。

#### ③ IDインターフェイスR/W(DS-1AKHのみ)

IDインターフェイス部のデータ(システム領域を含む)を読み出し、書き換えます。

(IDプレートとは通信しません)

### (2) マニュアル実行機能

IDプレート、DS-30PG(IDインターフェイス部)のメモリに格納されているデータを一括で読出し/書込み、およびIDプレートに対する自己診断などを行う機能です。

#### ① 読出し(DS-1AKH)

指定する先頭アドレス・バイト数のデータを、IDプレートからIDインターフェイス部に読み出します。

読み出したデータは、IDインターフェイスR/W(データ表示機能)で確認できます。

#### ② 書込み(DS-1AKH)

IDインターフェイス部のデータを、IDプレートの指定するアドレス・バイト数に書き込みます。なお、IDインターフェイス部のデータはあらかじめ、IDインターフェイスR/W(データ表示機能)で書き込む必要があります。

#### ③ クリア(DS-1AH/DS-1AKH)

IDプレートの指定する先頭アドレス・バイト数に、指定するクリアデータ(1バイト)を書き込みます。(プレート初期化を含む)

#### ④ コピー(DS-1AKH)

IDプレートの指定するアドレス・バイト数を、別のIDプレートに書き込みます。

#### ⑤ 診断(DS-1AKH)

IDプレートの自己診断、ROMチェック、RAMチェック、ブロックチェックを行います。

⑥ 自己診断C (DS-1AKH)

DS-30PG ( I D インターフェイス部)のROMチェック、RAMチェックを行います。

⑦ 自己診断 (DS-1AH)

I D プレートのROMチェック、RAMチェックを行います。

⑧ ブロックチェック (DS-1AH)

I D プレートへデータ書込時に生成されたブロックチェックコードと、実際に I D プレートのデータ領域に格納されたデータから算出したブロックチェックコードを照合します。

(3) 登録機能

I D プレートの特定アドレスを常に確認する場合、あらかじめアドレス等を登録して、登録番号の操作により読み出せる機能です。登録は、最大4パターン(登録番号1～4)です。

(4) オプション機能

「メモリ初期化」機能があり、DS-30PG ( I D インターフェイス部)のメモリを初期化(出荷時状態)できます。



## 6-3 DS-1PK/8PKを使用時の操作方法

DS-30PG本体にアンテナDS-1AKHを取り付けます。⇒5-1ページ

### 〔1〕初期画面

DS-30PG本体の電源(POWER)をONすると、初期画面(下記)が表示されます。

初期画面の「DS8PK」キーまたは「DS8PK登録」キー、「オプション機能」キーをタップして、<sup>※</sup>操作を開始します。



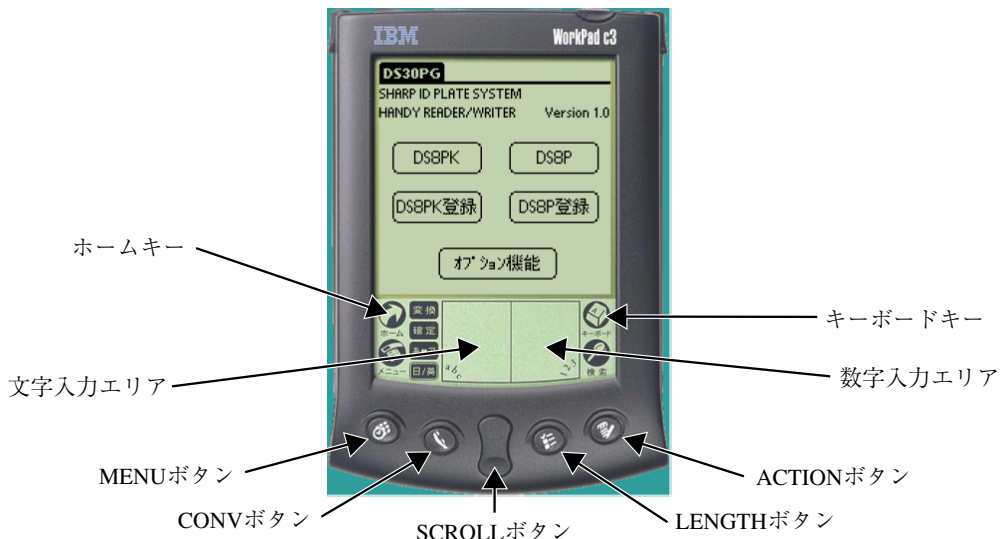
※タップとは、スタイラス(4-1ページ)を使って、DS-30PGの表示部(キー)を軽くたたくことです。

DS8PK	: I Dプレート(DS-1PK/8PK)のデータ表示機能/マニュアル実行機能
DS8P	: I Dプレート(DS-8P)のデータ表示機能/マニュアル実行機能
DS8PK登録	: I Dプレート(DS-1PK/8PK)の登録機能
DS8P登録	: I Dプレート(DS-8P)の登録機能
オプション機能	: オプション機能

### 〔2〕キー・ボタン操作

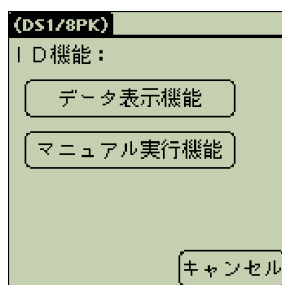
画面操作には、画面上のタッチキーと5つのボタンを使用します。なお、画面によって使用できるキー・ボタンが変わります。

1. キー・ボタンを押し間違えると、DS-30PGはアラームを鳴らします。
2. アドレスやバイト数、データ入力時には画面に数値キーが表示され、タッチキーで入力します。
3. 登録機能でコメント入力時には、キーボードキーまたはGraffiti入力エリア(文字入力エリア、数字入力エリア)でスタイラスを使って入力します。また、漢字も入力できます。



### [ 3 ] データ表示機能

初期画面(前ページ)の「DS8PK」キーをタップすると、[ I D機能]画面が表示されます。

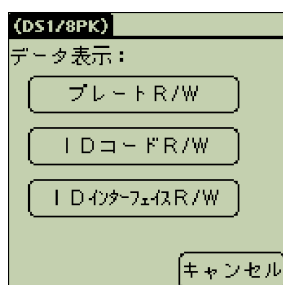


**データ表示機能** : I Dプレート、I Dコード、DS-30PG(I Dインターフェイス部)のデータを読み出す(表示する)、およびデータを設定して書き込む機能です。

・「キャンセル」キーをタップすると、初期画面に戻ります。

#### ■ 操作方法

[ I D機能]画面の「データ表示機能」キーをタップすると、[データ表示]画面が表示されます。



**プレートR/W** : I Dプレートの読出／書込  
⇒ 次ページ

**I DコードR/W** : I Dコードの読出／書込  
⇒ 6・10ページ

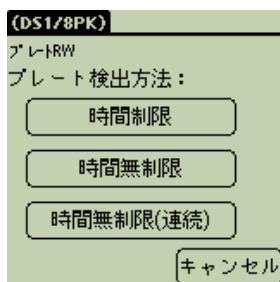
**I DインターフェイスR/W** : I Dインターフェイス部の読出／書込  
⇒ 6・10ページ

・「キャンセル」キーをタップすると、[ I D機能]画面に戻ります。

## (1) プレートR/W

IDプレートのデータを読み出す、およびIDプレートにデータを書き込みます。

[データ表示]画面(前ページ)の「プレートR/W」キーをタップすると、[プレート検出方法]画面が表示されます。



**時間制限** : IDプレートがアンテナの通信エリア内に存在していることを確認してから、通信を開始します。IDプレートが存在しなければ、リトライを5回行ってからエラーとなります。

**時間無制限** : アンテナからIDプレートに検出電波を常に発信させ、IDプレートが通信エリアに入ると、アンテナは自動的に通信を開始します。

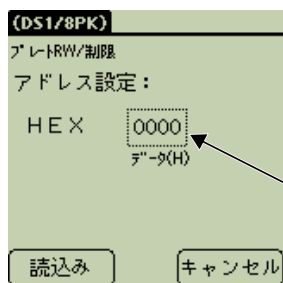
**時間無制限(連続)** : 「時間無制限」の通信動作を繰り返して行います。

・ 「キャンセル」キーをタップすると、[データ表示]画面に戻ります。

以下、「時間制限」をタップした場合を説明します。「時間無制限」、「時間無制限(連続)」をタップした場合でも表示は同じです。

### ■ データの読出

[プレート検出方法]画面で「時間制限」をタップすると、[アドレス設定]画面が表示されます。



読み出す先頭アドレスを設定します。

- ・ CONVボタンを押すと、アドレスの表示形式が「HEX → OCT → DCM → HEX」と切り替わります。
- ・ アドレスの枠内をタップすると、数値キーが表示されます。

↓  
次ページへ

前ページより

(DS1/8PK)  
プレートRW/制限無  
アドレス設定:  
HEX 0000  
データ(H)

6	7	8	9	A-F
3	4	5	CE	設定
0	1	2		

数値キーをタップして、IDプレートから読み出す先頭アドレスを入力します。

・アドレスを入力後、「設定」キーをタップすると先頭アドレスが設定されます。(数値キーは消えます。)

「A-F」キー：HEX表示のとき、「A-F」キー部をタップする毎に「0~5」と「A~F」が切り替わります。

「CE」キー：入力した値がキャンセルされます。

(DS1/8PK)  
プレートRW/制限  
アドレス設定:  
HEX 0000  
データ(H)

読み込み キャンセル

「読み込み」キーをタップすると、IDプレートと通信を開始し、読み出した結果が表示されます。

(DS1/8PK)  
プレートRW/制限無  
アドレス(H) データ(H)

0000	4241
0002	4443
0004	4645
0006	4847
0008	4A49
000A	4C4B
000C	4E4D
000E	504F

書き込み キャンセル

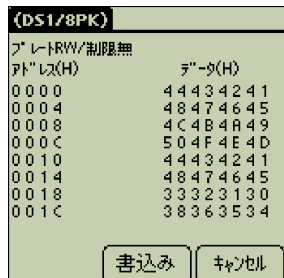
・SCROLLボタンを押すと、1バイトずつアドレスが前進/後退します。

・LENGTHボタンを押すと、1行に表示するデータ長が「1→2→4→1」バイトと切り替わります。

・CONVボタンを押すと、表示形式が「HEX→OCT→DCM→ANC→HEX」と切り替わります。

・他の表示例⇒次ページ参照

- 先頭アドレス：0000(H)、表示形式：HEX、データ長：4バイトの表示例



- ・アドレスは、先頭から昇順で表示されます。
- ・「書込み」キーはデータ編集画面(次ページ)から戻ったときに有効となります。

- 先頭アドレス：0000(H)、表示形式：ANK、データ長：4バイト、ANK反転の表示例



- ・「ANK反転」キーは、データコードがANK時のみ表示され、タップする毎に反転・正転します。

[表示形式とデータ長の関係]

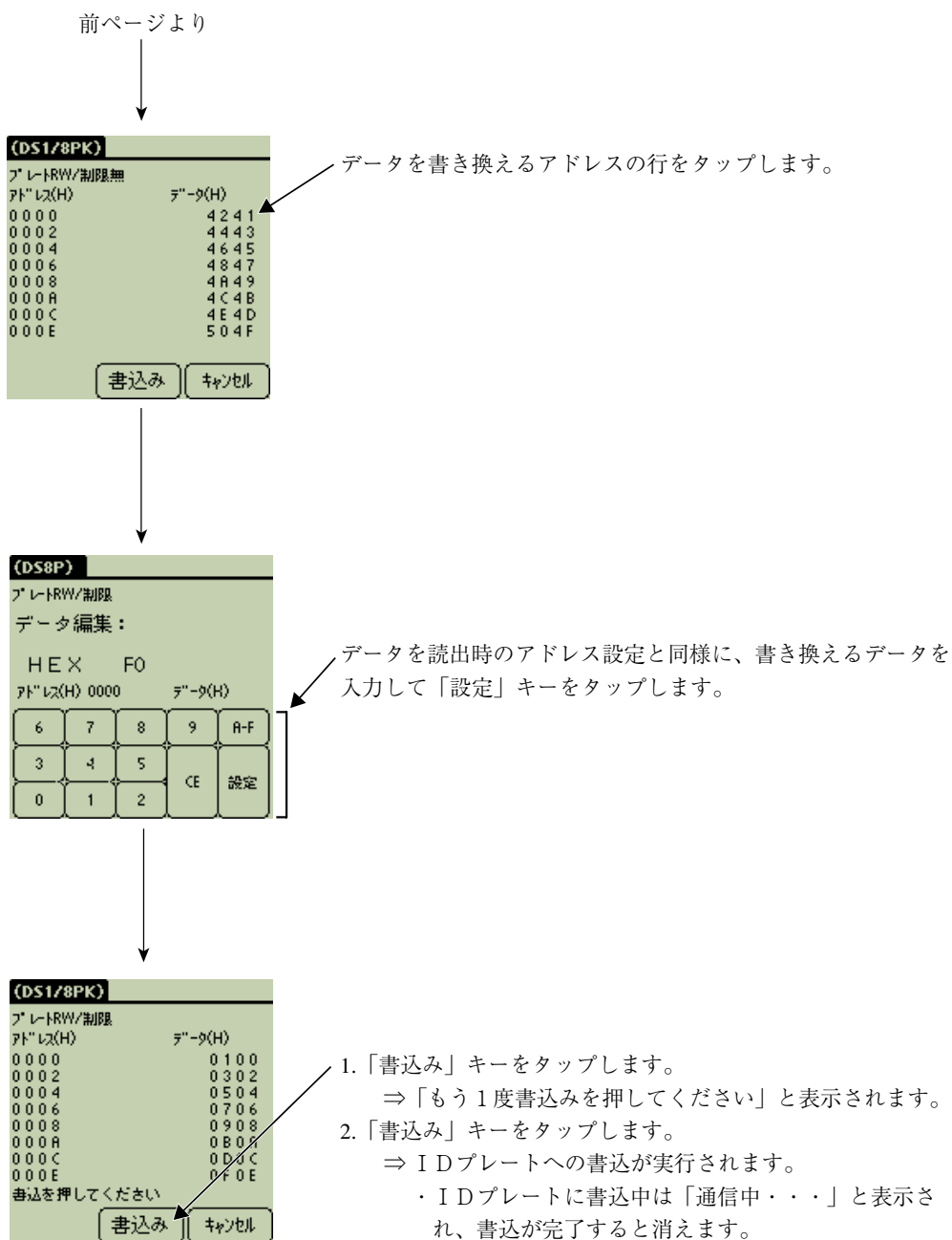
データ長	表示形式				
	HEX	OCT	DCM	BIN	ANK
1バイト	○	○	○	○	○
2バイト	○	○	○	—	○
4バイト	○	○	○	—	○
8バイト	—	—	—	—	○

○：設定可

- ・16バイト(データ長)は、登録機能で表示可能です。

↓  
次ページへ

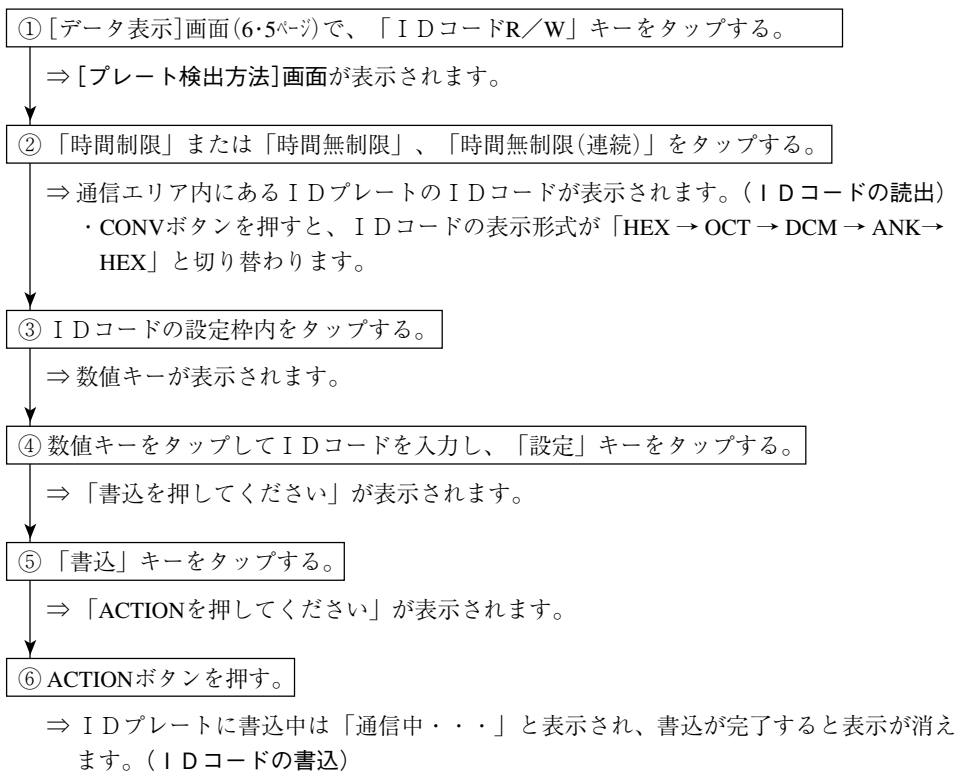
## ■ データの書込



## (2) IDコードR/W

データ表示機能の「IDコードR/W」では、IDプレートに登録されているIDコードの読出・書込を操作できます。

操作手順は以下のとおりで、表示される画面に従って操作してください。



・ [プレート検出方法]画面、数値キーの設定は「プレートR/W」の操作と同様です。

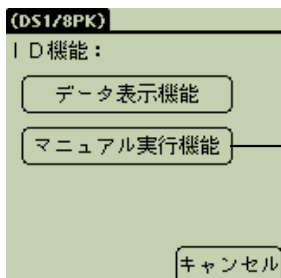
⇒ 6・7ページ参照

## (3) IDインターフェイスR/W

データ表示機能の「IDインターフェイスR/W」では、DS-30PG(内部メモリ)の読出・書込を操作できます。

操作手順は、「プレートR/W」と同様に行ってください。ただし、「プレートR/W」に比べて、「プレート検出方法」の操作がありません。⇒ 6・6ページ参照

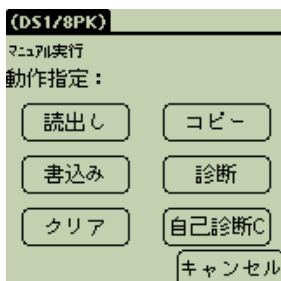
#### 〔4〕マニュアル実行



- ・各通信動作に必要な項目(動作指定、プレート検出方法など)を設定するだけで、IDプレートと通信できる機能です。
- ・データはIDインターフェイス(DS-30PG)を介するため、書き込むデータをあらかじめ、データ表示機能の「IDインターフェイスR/W」で書き込む必要があります。
- ・読み出したデータも、データ表示機能の「IDインターフェイスR/W」で確認できます。

#### ● 操作内容

[ID機能]画面の「マニュアル実行機能」キーをタップすると、[動作指定]画面が表示されます。



- ・「キャンセル」キーをタップすると、[ID機能]画面に戻ります。

**読出し** : IDプレートのデータを、IDインターフェイス(DS-30PG)に読み出します。

**書込み** : IDプレートに、IDインターフェイス(DS-30PG)のデータを書き込みます。

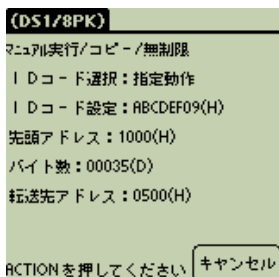
**クリア** : IDプレートに、クリアデータを書き込みます。

**コピー** : IDプレートの指定領域のデータを、他のIDプレートの指定領域にコピーします。

**診断** : IDプレートの診断(自己診断、ROMチェック、RAMチェック、ブロックチェック)を行います。  
 ・自己診断は電池寿命、ROMチェック、RAMチェック、ブロックチェックすべてを一括で実行します。

**自己診断C** : DS-30PG(IDインターフェイス部)のROMチェック、RAMチェックを行います。

マニュアル実行の各機能(読出し等)は、データ表示機能と同様な操作で設定を行います。なお、マニュアル実行機能の場合には、必要な設定を終了時に設定した内容が一覧で表示されます。

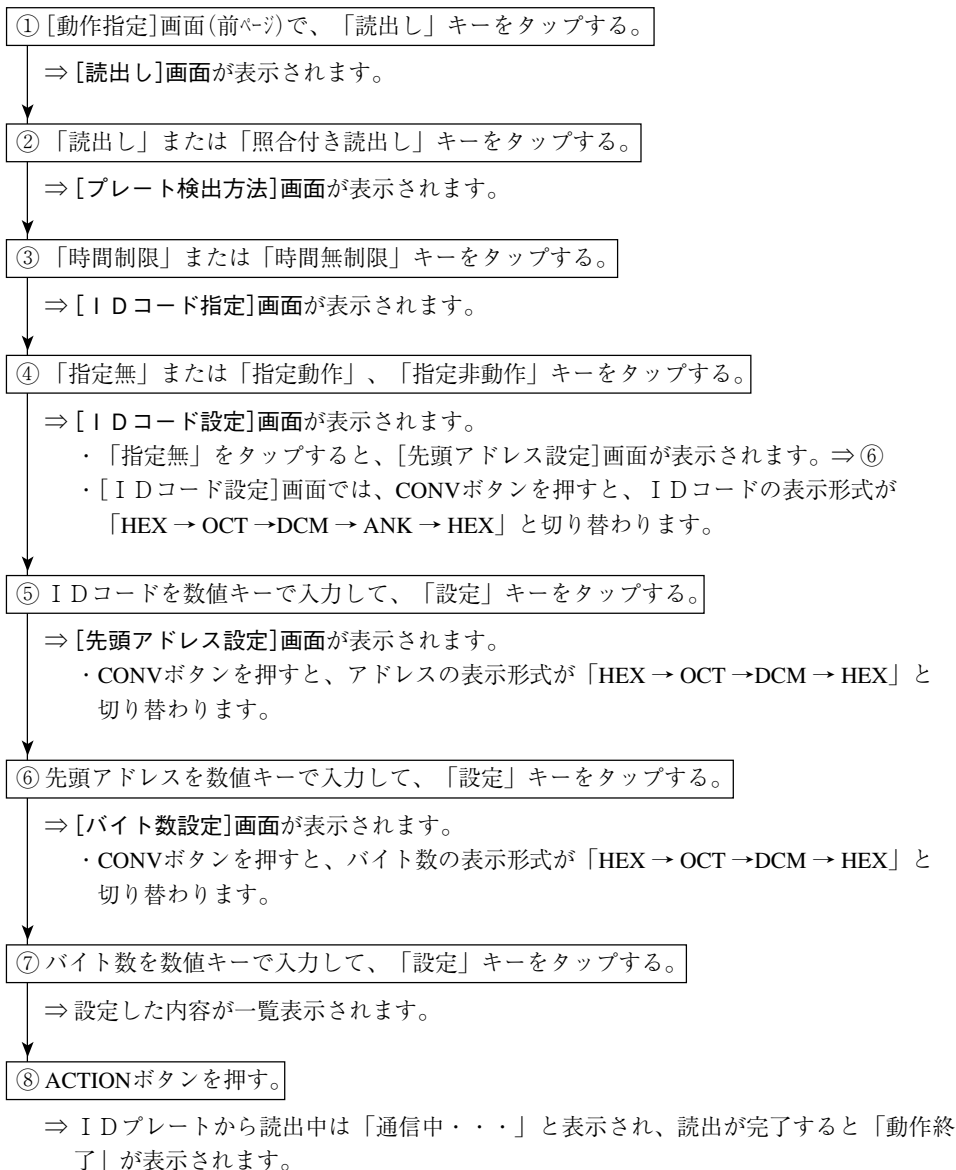


(コピーの設定例)



## (1) 読出し

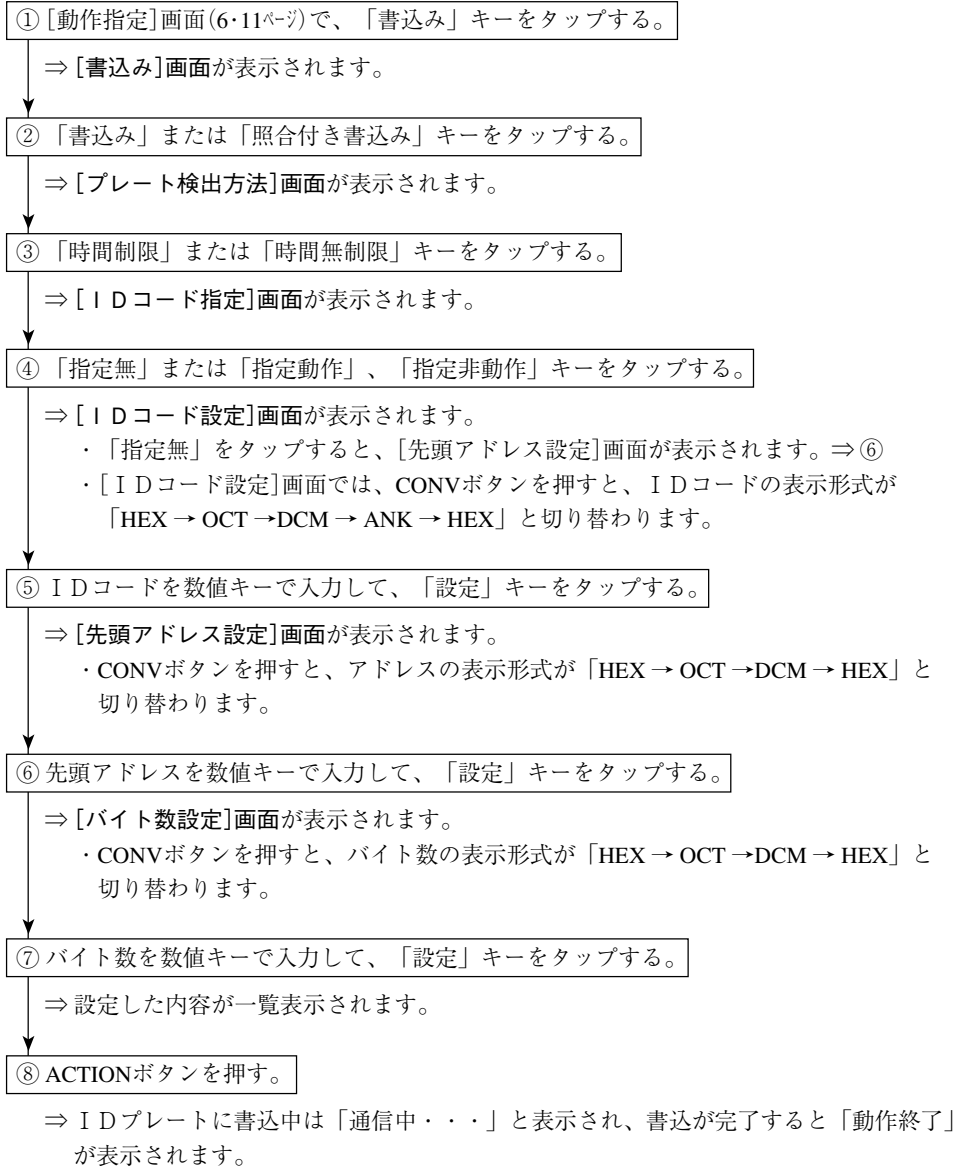
IDプレートのデータを、DS-30PG (IDインターフェイス部)に読み出します。  
操作手順は以下のとおりで、表示される画面に従って操作してください。



・数値キーの設定は、「プレートR/W」の操作と同様です。⇒6・7ページ参照

## (2) 書込み

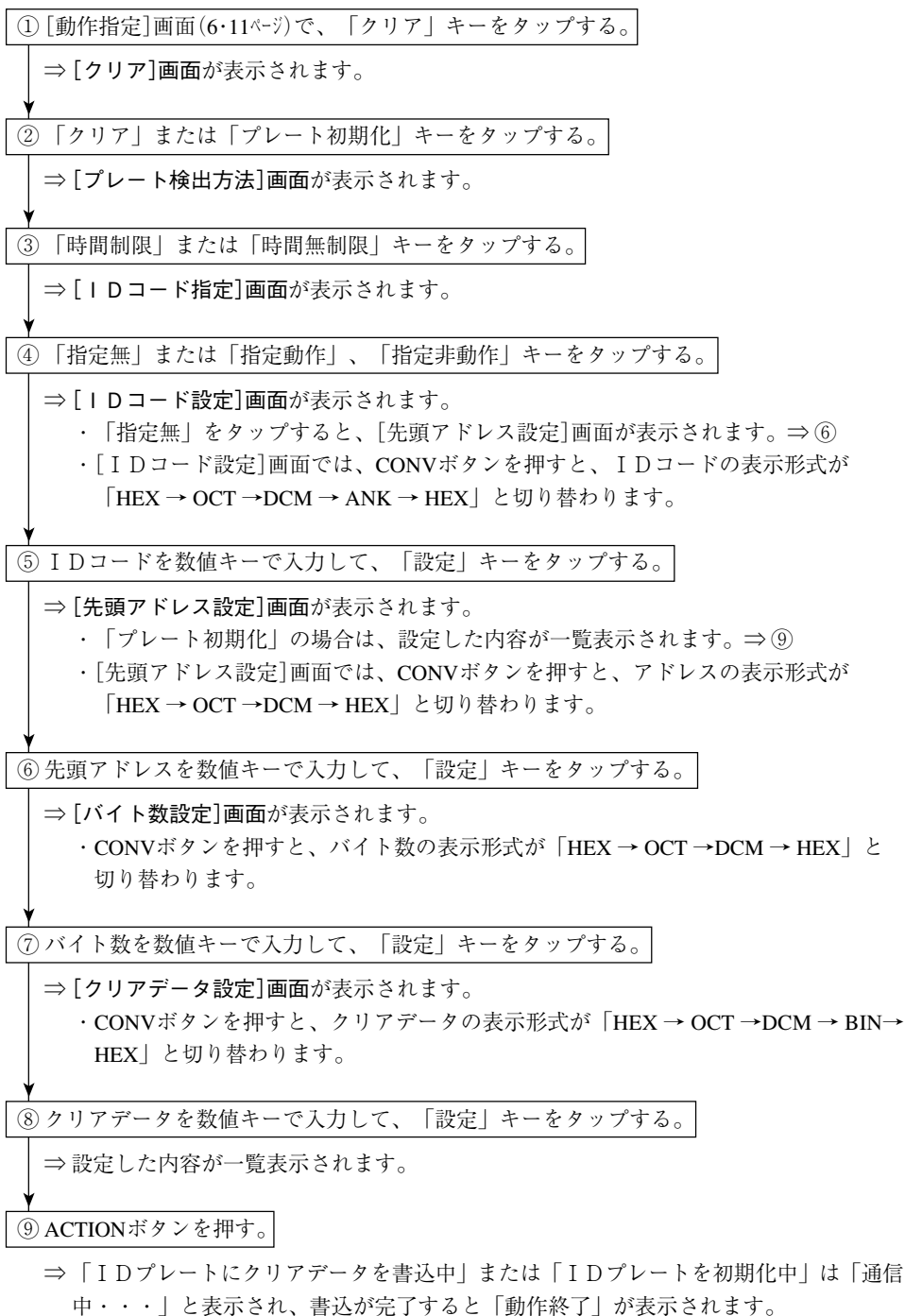
IDプレートに、DS-30PG(IDインターフェイス部)のデータを書き込みます。  
操作手順は以下のとおりで、表示される画面に従って操作してください。



・数値キーの設定は、「プレートR/W」の操作と同様です。⇒6・7ページ参照

### (3) クリア

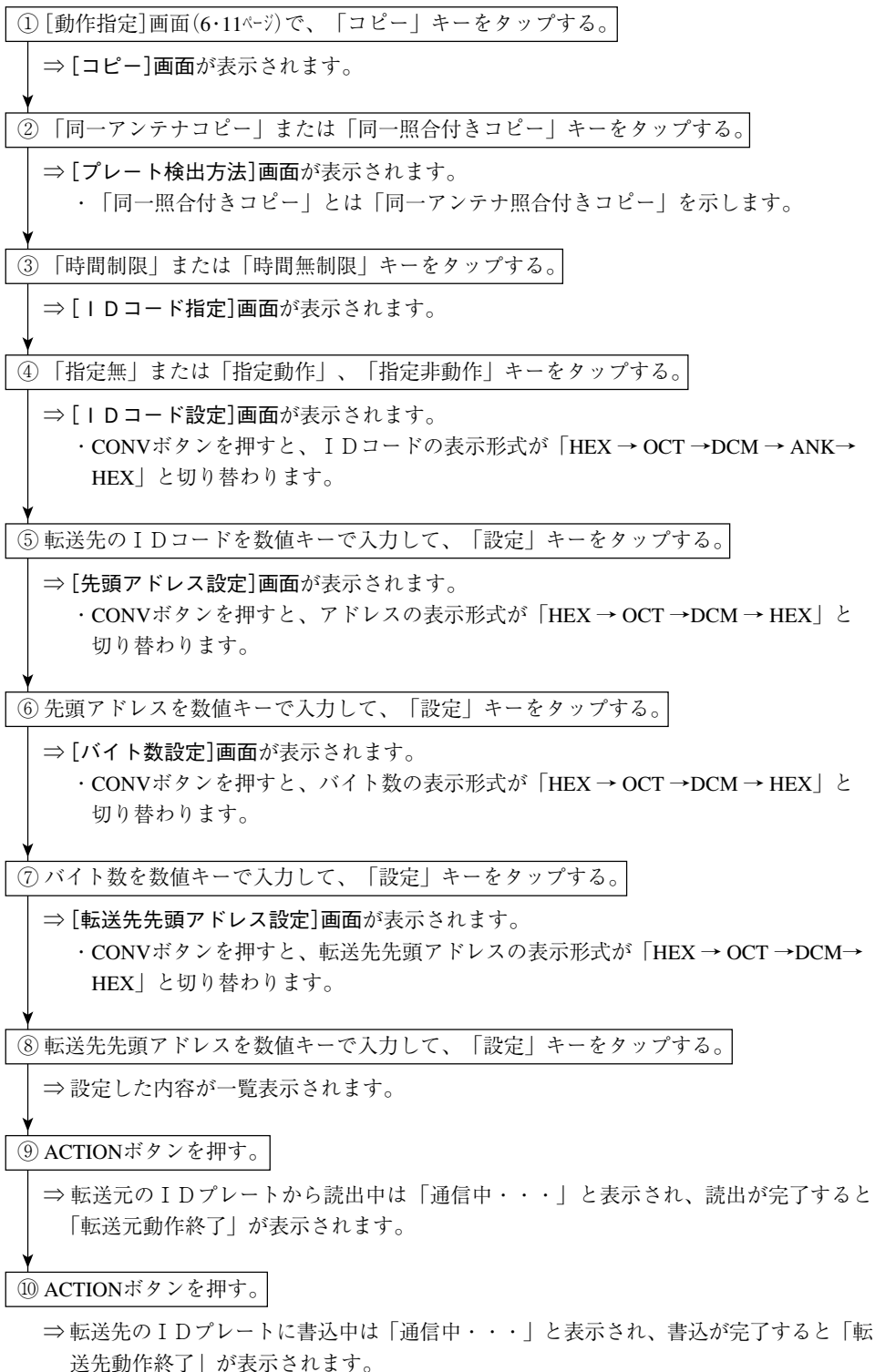
IDプレートにクリアデータを書き込む、またはIDプレートを初期化します。  
操作手順は以下のとおりで、表示される画面に従って操作してください。



・数値キーの設定は、「プレートR/W」の操作と同様です。⇒6・7ページ参照

#### (4) コピー

IDプレートの指定エリアのデータを、他のIDプレートの指定エリアにコピーします。  
操作手順は以下のとおりで、表示される画面に従って操作してください。



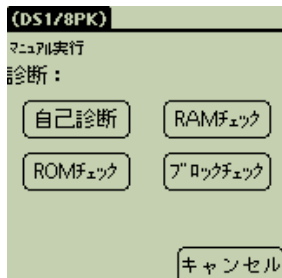
・数値キーの設定は、「プレートR/W」の操作と同様です。⇒ 6・7ページ参照

## (5) 診断

IDプレートの自己診断、ROMチェック、RAMチェック、ブロックチェックを行います。操作手順は以下のとおりで、表示される画面に従って操作してください。

[動作指定]画面(6・11ページ)で、「診断」等のキーをタップする。

⇒[診断]画面に、「自己診断」等のキーが表示されます。



- ・自己診断 ⇒ 下記
- ・ROMチェック ⇒ 次ページ
- ・RAMチェック ⇒ 次ページ
- ・ブロックチェック ⇒ 6・18ページ

### ■ 自己診断

自己診断は、IDプレートの電池寿命、ROMチェック、RAMチェック、ブロックチェックを一括で行います。

① [診断]画面の「自己診断」キーをタップする。

⇒ [プレート検出方法]画面が表示されます。

② 「時間制限」または「時間無制限」キーをタップする。

⇒ [IDコード指定]画面が表示されます。

③ 「指定無」または「指定動作」、「指定非動作」キーをタップする。

⇒ [IDコード設定]画面が表示されます。

- ・「指定無」をタップすると、[先頭アドレス設定]画面が表示されます。⇒ ⑤

④ IDコードを数値キーで入力して、「設定」キーをタップする。

⇒ [先頭アドレス設定]画面が表示されます。

⑤ 先頭アドレスを数値キーで入力して、「設定」キーをタップする。

⇒ [バイト数設定]画面が表示されます。

⑥ バイト数を数値キーで入力して、「設定」キーをタップする。

⇒ 設定した内容が一覧表示されます。

⑦ ACTIONボタンを押す。

⇒ IDプレートを自己診断中は「通信中・・・」と表示され、自己診断が完了すると「電池使用率」が表示され、「動作終了」が表示されます。

- ・IDコード/先頭アドレス/バイト数の表示形式は、「読出し」と同様です。  
⇒ 6・12ページ参照

## ■ ROMチェック

① [診断]画面(前ページ)の「ROMチェック」キーをタップする。

⇒ [プレート検出方法]画面が表示されます。

② 「時間制限」または「時間無制限」キーをタップする。

⇒ [IDコード指定]画面が表示されます。

③ 「指定無」または「指定動作」、「指定非動作」キーをタップする。

⇒ [IDコード設定]画面が表示されます。

・「指定無」をタップすると、設定した内容が一覧表示されます。⇒⑤

④ IDコードを数値キーで入力して、「設定」キーをタップする。

⇒ 設定した内容が一覧表示されます。

⑤ ACTIONボタンを押す。

⇒ IDプレートをROMチェック中は「通信中・・・」と表示され、ROMチェックが完了すると、「動作終了」が表示されます。

・IDコード/アドレス/バイト数の表示形式は、「読出し」と同様です。⇒6・12ページ参照

## ■ RAMチェック

① [診断]画面(前ページ)の「RAMチェック」キーをタップする。

⇒ [プレート検出方法]画面が表示されます。

② 「時間制限」または「時間無制限」キーをタップする。

⇒ [IDコード指定]画面が表示されます。

③ 「指定無」または「指定動作」、「指定非動作」キーをタップする。

⇒ [IDコード設定]画面が表示されます。

・「指定無」をタップすると、[先頭アドレス設定]画面が表示されます。⇒⑤

④ IDコードを数値キーで入力して、「設定」キーをタップする。

⇒ [先頭アドレス設定]画面が表示されます。

⑤ 先頭アドレスを数値キーで入力して、「設定」キーをタップする。

⇒ [バイト数設定]画面が表示されます。

⑥ バイト数を数値キーで入力して、「設定」キーをタップする。

⇒ 設定した内容が一覧表示されます。

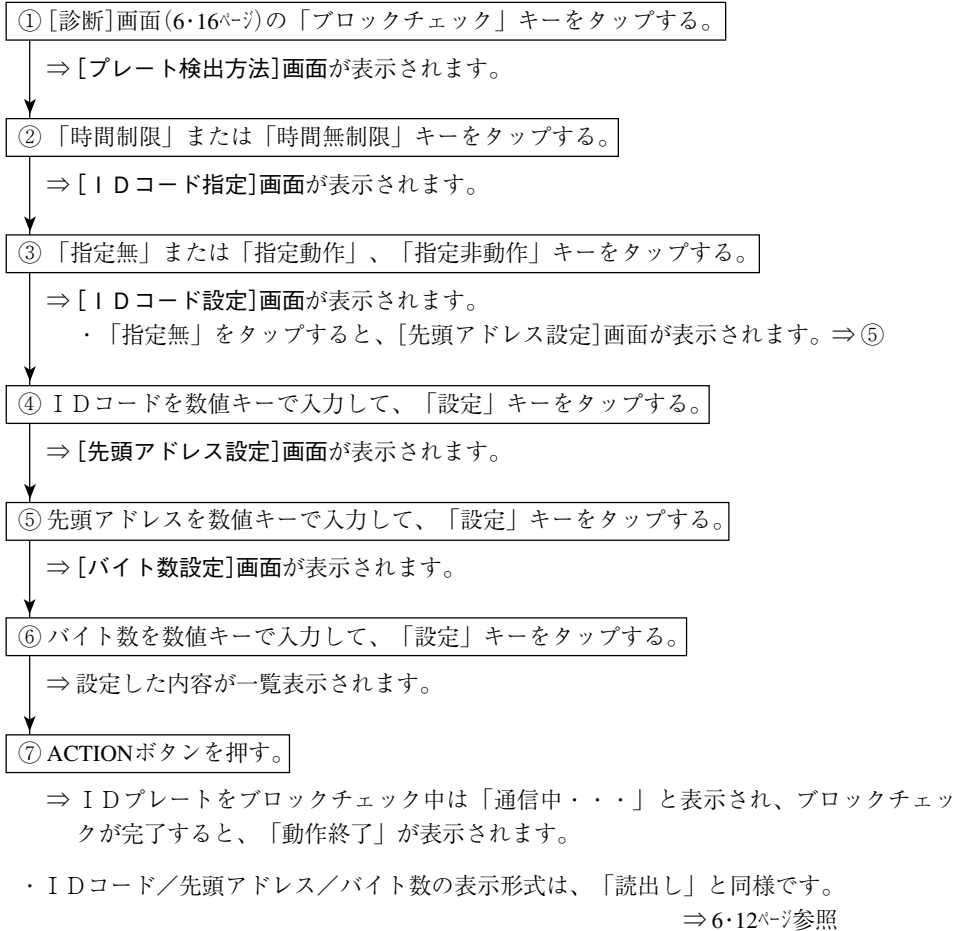
⑦ ACTIONボタンを押す。

⇒ IDプレートをRAMチェック中は「通信中・・・」と表示され、RAMチェックが完了すると、「動作終了」が表示されます。

・IDコード/先頭アドレス/バイト数の表示形式は、「読出し」と同様です。

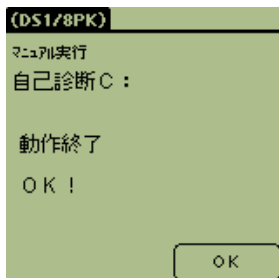
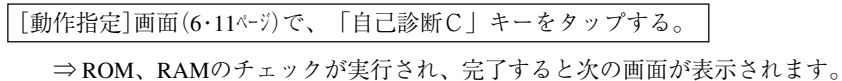
⇒6・12ページ参照

## ■ ブロックチェック



### (6) 自己診断C

DS-30PG (IDインターフェイス部)のROMチェック、RAMチェックを行います。



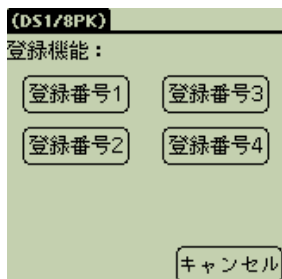
## 〔5〕登録機能

あらかじめ「IDプレートから読み出すアドレス」と「データの表示形式」を登録して、登録番号の操作により、IDプレートと通信を行ってデータを表示する機能です。

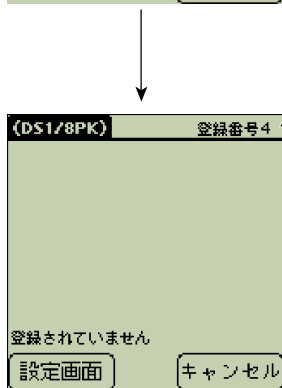
登録は、最大4パターン(登録番号1～4)です。

### ● 操作内容

初期画面(6・4ページ)の「DS8PK登録」をタップすると、[登録機能]画面が表示されます。



登録する番号(1～4)のキーをタップします。  
⇒ 各登録番号の読出画面が表示されます。



登録番号4のとき

#### ● 登録が無いとき

「登録されていません」が表示されます。

・「設定画面」キーを押して、[先頭アドレス設定]画面へ移行します。⇒ 次ページ

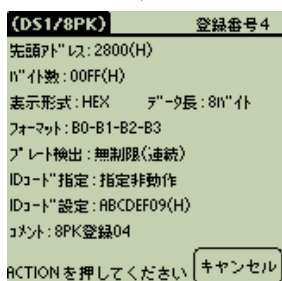
#### ● 登録が有るとき

「通信中・・・」が表示されます。IDプレートとの通信が完了するとコメント名、読出データ、「繰返し時はACTIONを押してください」が表示されます。

・登録内容を変更するときは、「設定画面」キーを押して[先頭アドレス設定]画面へ移行します。

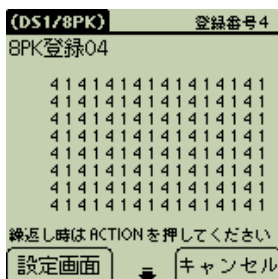
⇒ 次ページ

----- 画面の指示に従って、全ての項目を設定する。

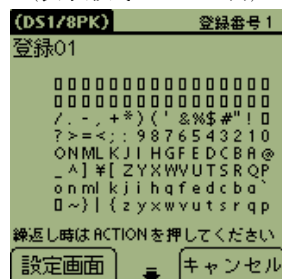


設定した内容の確認画面が表示されます。

・ACTIONボタンを押すと、登録内容でIDプレートとの通信が実行され、読出データが表示されます。このとき、設定した内容が登録されます。

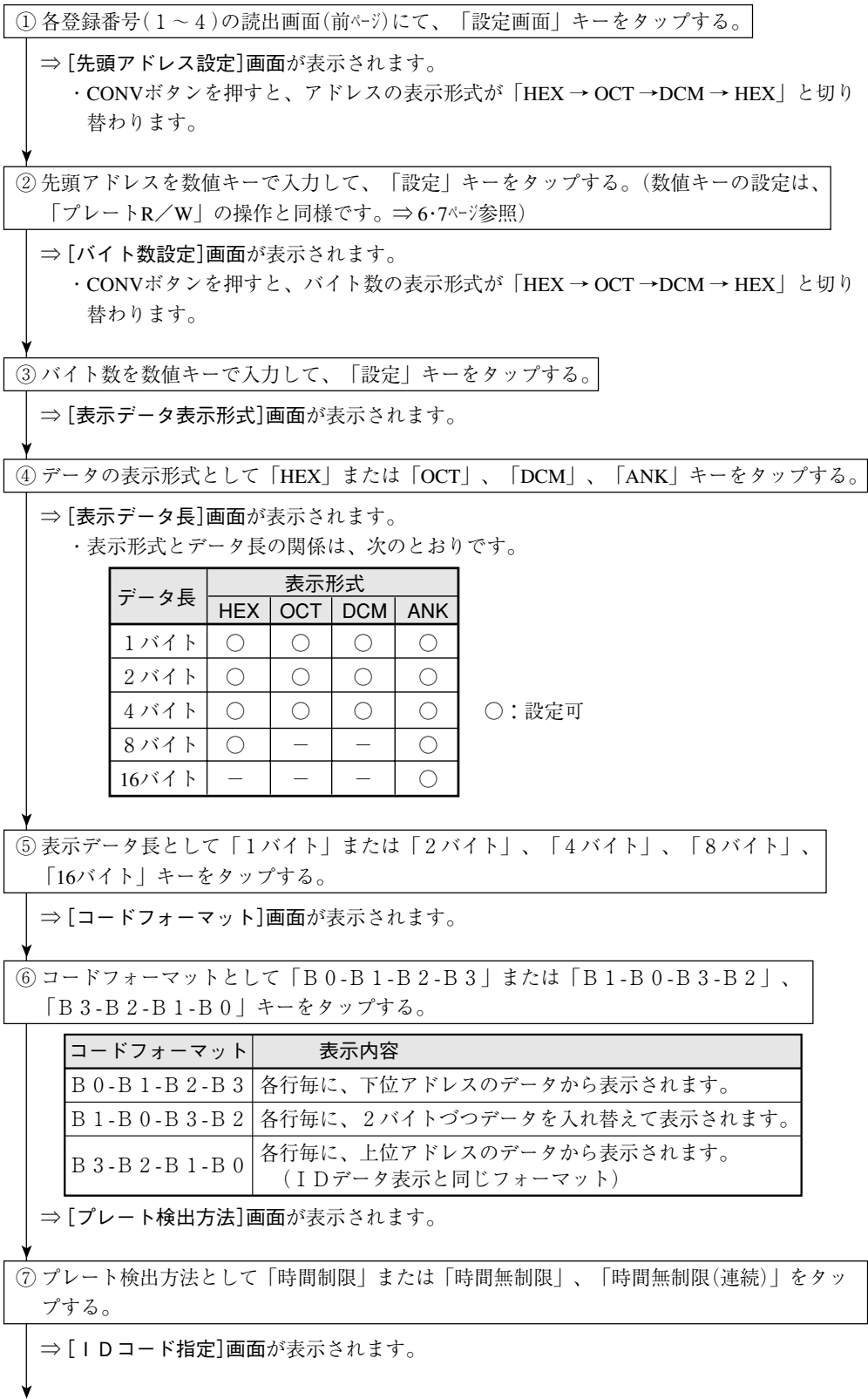


(表示形式がANKの例)





(1) 登録の操作手順



次ページへ

前ページより

⑧ IDコード指定として「指定無」または「指定動作」、「指定非動作」をタップする。

⇒ [IDコード設定]画面が表示されます。

- ・ 「指定無」をタップすると、[登録内容コメント]画面が表示されます。⇒⑩
- ・ [IDコード設定]画面では、CONVボタンを押すと、IDコードの表示形式が「HEX → OCT → DCM → ANK → HEX」と切り替わります。

⑨ IDコードを数値キーで入力して、「数値」キーをタップする。

⇒ [登録内容コメント]画面が表示されます。

⑩ 登録内容のコメントをキーボード等で入力(次ページ参照)して、「設定」キーを押す。

⇒ 設定した内容が一覧表示されます。

⑪ ACTIONボタンを押す。

⇒ IDプレートから読出中は「通信中・・・」と表示され、読出が完了すると「動作終了」が表示されます。このとき、設定した内容が登録されます。

## (2) コメント入力

登録機能の[登録内容コメント]画面にて、コメントを入力する方法を説明します。

コメントの入力には、次の2方法があります。

1. スクリーン キーボードを使用する方法
2. Graffiti入力エリアを使用する方法

なお、コメントの文字数は「半角 最大24文字(英数字)」、「全角 最大12文字(かな/カタカナ/漢字)」です。

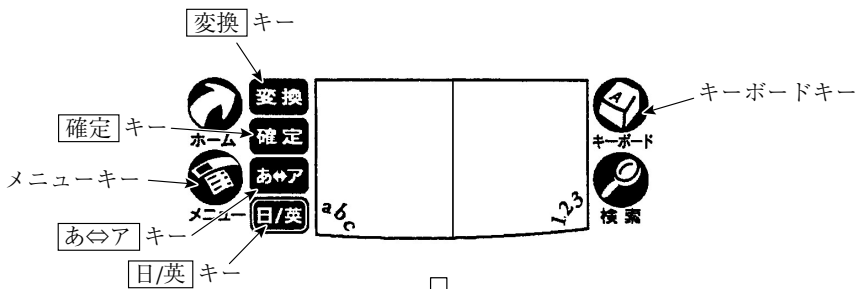
### ■ スクリーン キーボードを使用する方法

文字、数字を入力する手順を示します。

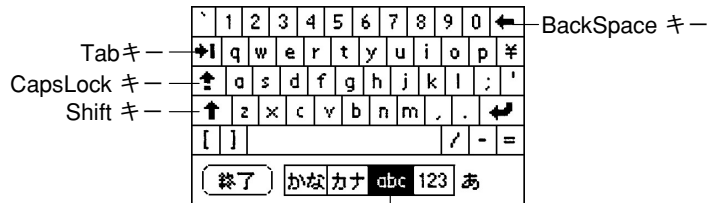
① 登録機能(DS8PK登録またはDS8P登録)の[登録内容コメント]画面を表示する。

⇒ 前ページ参照

② キーボードキーをタップして、スクリーン キーボードを表示する。

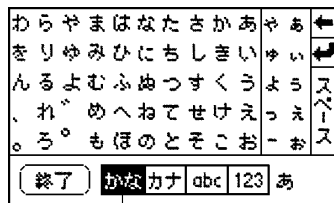


#### ● アルファベットのキーボード



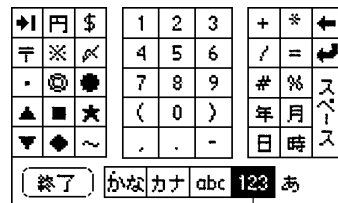
ここをタップ

#### ● ひらがなのキーボード



ここをタップ

#### ● 数字・記号のキーボード



ここをタップ

次ページへ

### 留意点

・スクリーン キーボードとGraffiti入力エリアは、同時には使用できません。

前ページより

③ スクリーンキーボードをタップしてコメント(文字/数字/記号)を入力し、**確定** キーをタップする。

● 漢字の変換手順

1. スクリーンキーボードのタップにより、「ひらがな」または「カタカナ」を入力する。
2. **変換** キーをタップして、漢字に変換する。
3. 表示される漢字を選択して、**確定** キーをタップする。

● アルファベットのスクリーンキーボード

下記のキーを押す毎に、アルファベットの入力内容が異なります。

	アルファベットの入力	画面表示
<b>日/英</b> キー	英字をそのまま入力	a
	ローマ字(ひらがな)入力	あ
<b>あ⇄ア</b> キー	ローマ字(ひらがな)入力	あ
	ローマ字(カタカナ)入力	ア

● 編集/オプション機能

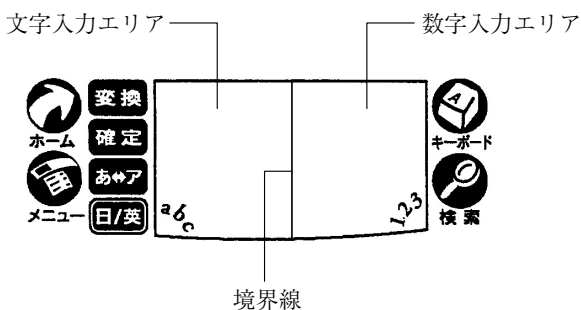
メニューキーをタップすると、「編集/オプション」メニューが表示されます。

- ・「編集」メニューでは、入力したコメントを「切り取り/コピー/貼り付け/すべて選択/元に戻す」できます。
- ・「オプション」メニューでは、「キーボード」と「文字コード表(シフトJIS)」を切り替えます。文字コード表(シフトJIS)により、通常の漢字変換で表示されない漢字、キーボードに無い文字や記号を入力できます。

④ スクリーンキーボードの **終了** キーをタップして、[登録内容コメント]画面に戻る。

## ■ Graffiti入力エリアを使用する方法

Graffiti 入力エリアには、「文字入力エリア」と「数字入力エリア」があります。



Graffiti入力エリア	入力区分	
文字入力エリア	英字 (大文字／小文字) ひらがな、カタカナ (⇒ 漢字)	記号 特殊文字
数字入力エリア	数字	

文字、数字を入力する手順を示します。

- ① 登録機能(DS8PK登録またはDS8P登録)の[登録内容コメント]画面を表示する。  
⇒ 6・19ページ参照
- ② 入力する文字(数字)を、スタイラスを使って、Graffiti入力エリアに書く。

### ● 文字(数字)の書き方

英字、数字、記号、特殊文字によって書き方が異なります。

- ・ 英字(大文字／小文字) ⇒ 次ページ
- ・ 数字
- ・ 記号
- ・ 特殊文字

6・26ページ\*

### ● ひらがな、カタカナの入力方法

英字を入力時に、下記のキーを押すと、「ひらがな／カタカナ」をローマ字入力できます。

日/英 キー	英字をそのまま入力
	ローマ字(ひらがな)入力
あ↔ア キー	ローマ字(ひらがな)入力
	ローマ字(カタカナ)入力

### ● 文字の確定方法

書いた文字は、**確定** キーをタップすると確定します。

### ● 漢字の変換手順

1. 「ひらがな」または「カタカナ」をローマ字入力する。
2. **変換** キーを押して、漢字に変換する。
3. 表示される漢字を選択して、**確定** キーをタップする。

● 英字の書き方

文字入力エリアに、各文字の書き方に従って、一筆書き(太い点から書き始める)で書いてください。なお、大文字を書くときは、Shiftキーを書いてから各文字を書いてください。

Shift キー	!
----------	---

大文字を続けて書くときは、Caps Lockキーを書いてから各文字を書いてください。

Caps Lock キー	!!
--------------	----

文字	書き方	文字	書き方
A	Λ	N	N
B	B B	O	O O
C	C	P	P P
D	D D	Q	Q
E	E	R	R R
F	F F	S	S
G	G G	T	T
H	h	U	U
I	I	V	V V
J	J	W	W
K	K	X	X X
L	L	Y	Y Y
M	M M	Z	Z

Space キー	—
Enter キー	/

Back Space キー	—
ピリオド	2回タップ

● 数字の書き方

数字入力エリアに、各数字の書き方に従って書いてください。(太い点から書き始める)

数字	書き方	数字	書き方
0		5	
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	

● 記号の書き方

文字入力エリアまたは数字入力エリアをタップして、各記号の書き方に従って書いてください。  
(太い点から書き始める)

記号	書き方	記号	書き方
ピリオド .		ハイフン -	
カンマ ,		左かっこ (	
アポストロフィ '		右かっこ )	
疑問符 ?		スラッシュ /	
感嘆符 !		ドル記号 \$	

@	#	%	^	&	*	<	>	_	+	=	
¥	{	}	[	]	~	`	;	:	"	tab	

● 特殊文字の書き方

文字入力エリアまたは数字入力エリアに、特殊文字モードを書いてから、各特殊文字の書き方に従って書いてください。(太い点から書き始める)

特殊文字 モード		•	+	-	X	=	¥	「	」

## 〔6〕 オプション機能

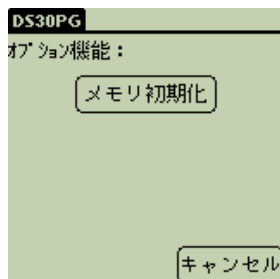
オプション機能には、「メモリ初期化」があります。

「メモリ初期化」を実行すると、次のデータが初期化されます。

1. 登録機能で登録済のデータ
2. DS-30PG (I Dインターフェイス部)のデータ(プレート用バッファ領域、システム領域)

### ■ 操作方法

初期画面(6・4ページ)の「オプション機能」キーをタップすると、[オプション機能]画面が表示されます。



- ① 「メモリ初期化」キーをタップする。  
⇒ 「ACTIONを押してください」が表示されます。
- ② ACTIONボタンを押す。  
⇒ 上記データの初期化が実行されます。

## 〔7〕 オートパワーオフ機能

### ■ オートパワーオフについて

「最後の操作(キーをタップ、ボタンを押す)」または「通信が完了」した後、設定時間内に操作しなければDS-30PGの画面表示が消えます。消えた後、DS-30PGの電源をONすれば、初期画面が表示されます。

### ■ 設定方法

- ① ホームキーを押す。

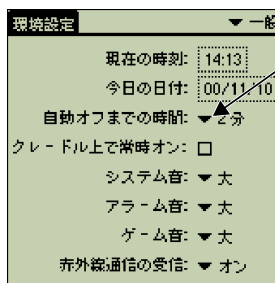
⇒ アプリケーションのアイコン画面が表示されます。



「環境設定」のアイコン

- ② 「環境設定」のアイコンをタップする。

⇒ [環境設定]画面が表示されます。  
・ 「自動オフまでの時間」の「▼」をタップして、設定する時間を「30秒／1分／2分／3分」から選択(タップ)します。



オートパワーオフの設定

- ③ ホームキーを押して、アプリケーションのアイコン画面に戻る。

- ④ 「DS30PG」のアイコンをタップする。

⇒ 初期画面(6・4ページ)が表示されます。



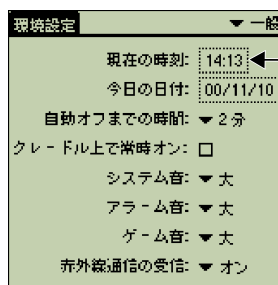
## 〔8〕日付・時刻の設定

DS-30PGがI Dプレートの電池使用率を算出するのに、現在の日付・時刻をDS-30PGへ正確に設定しておく必要があります。

### ■ 設定方法

① ホームキーを押す。

⇒ アプリケーションのアイコン画面が表示されます。



② 「環境設定」のアイコンをタップする。

⇒ [環境設定]画面が表示されます。

- ・ 「今日の日付」の枠(点線)をタップすると、[日付の設定]画面が表示されます。月、日の順にタップすると「今日の日付」が設定されます。
- ・ 「現在の時刻」の枠(点線)をタップすると、[時刻の設定]画面が表示されます。「時」および「分」の欄を選択(タップ)し、「▲」または「▼」をタップして、数値を選択後、「OK」をタップすると「現在の時刻」が設定されます。

③ ホームキーを押して、アプリケーションのアイコン画面に戻る。

④ 「DS30PG」のアイコンをタップする。

⇒ 初期画面(6・4ページ)が表示されます。

## 6-4 DS-8Pを使用時の操作方法

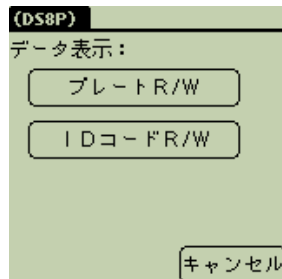
DS-30PG本体にアンテナDS-1AHを取り付けます。⇒5-1ページ

初期画面(6-4ページ)の「DS8P」キーまたは「DS8P登録」キー、「オプション機能」キーをタップして、操作を開始します。キー・ボタン操作は「6-3 DS-1PK/8PKを使用時の操作方法」と同様です。

### 〔1〕データ表示機能

初期画面の「DS8P」キーをタップすると、[ID機能]画面が表示されます。

[ID機能]画面の「データ表示機能」キーをタップすると、[データ表示]画面が表示されます。

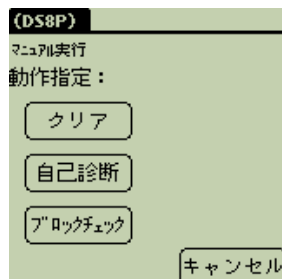


[データ表示]画面にて「プレートR/W」、「IDコードR/W」の機能进行操作できます。操作方法は、「DS-1PK/8PKを使用時」の同じ機能と同様に行ってください。

### 〔2〕マニュアル実行機能

初期画面の「DS8P」キーをタップすると、[ID機能]画面が表示されます。

[ID機能]画面の「マニュアル実行機能」キーをタップすると、[動作指定]画面が表示されます。



[動作指定]画面にて「クリア」、「自己診断」、「ブロックチェック」の機能进行操作できます。操作方法は、「DS-1PK/8PKを使用時」の該当機能と同様に行ってください。

### 〔3〕登録機能

初期画面の「DS8P登録」キーをタップすると、[登録機能]画面が表示されます。

[登録機能]画面にて「登録番号1～4」の設定进行操作できます。

操作方法は、「DS-1PK/8PKを使用時」の登録機能と同様に行ってください。

### 〔4〕オプション機能、オートパワーオフ機能、日付・時刻の設定

操作方法は、「DS-1PK/8PKを使用時」と共通です。

## 6-5 IDプレート、DS-30PGのメモリ

### [1] IDプレート(DS-1PK/8PK)のメモリ

#### ● DS-8PKのメモリ

メモリの領域名		アドレス			DS-30PGの表示メッセージ	バイト数	初期値(16進)	書込クリア	読出	
		8進(8)	10進(D)	16進(H)						
①データ領域		000000 ∴ 016577	00000 ∴ 7551	0000 ∴ 1D7F	データ	7552				
シ ス テ ム 領 域	②フリー領域	100000 ∴ 100077	32768 ∴ 32831	8000 ∴ 803F	フリー領域	64	00	○		
	③IDコード	100100 ∴ 100103	32832 ∴ 32835	8040 ∴ 8043	IDコード	4				
	④プレート 製造年月	製造月	100104	32836	8044	製造月	2	生産時に設定		
		製造年	100105	32837	8045	製造年				
	⑤通信動作回数		000106 ∴ 100111	32738 ∴ 32841	8046 ∴ 8049	R/Wカウンタ	4			
	⑥アクティブ積算時間1		000112 ∴ 100115	32742 ∴ 32845	804A ∴ 804D	アクティブ1	4		×	
	⑦アクティブ積算時間2 (動作表示灯：点灯中)		100116 ∴ 100121	32746 ∴ 32849	804E ∴ 8051	アクティブ2	4			
	⑧受信禁止時間		100122,3	32850,1	8052,3	受信禁止	2			○
	⑨動作表示灯の点灯設定時間		100124	32852	8054	LED設定	1			
	⑩システム領域プロテクト		100125	32853	8055	システムプロテクト	1			
書 込 プ ロ テ ク ト の 設 定 領 域	データ領域 プロテクト1	先頭アドレス	100126,7	32854,5	8056,7	プロテクト1A	00	○		
		バイト数	100130,1	32856,7	8058,9	プロテクト1B				
	〃 プロテクト2	先頭アドレス	100132,3	32858,9	805A,B	プロテクト2A				
		バイト数	100134,5	32860,1	805C,D	プロテクト2B				
	〃 プロテクト3	先頭アドレス	100136,7	32562,3	805E,F	プロテクト3A				
		バイト数	100140,1	32864,5	8060,1	プロテクト3B				
	〃 プロテクト4	先頭アドレス	100142,3	32866,7	8062,3	プロテクト4A				
		バイト数	100144,5	32868,9	8064,5	プロテクト4B				
	〃 プロテクト5	先頭アドレス	100146,7	32870,1	8066,7	プロテクト5A				
		バイト数	100150,1	32572,3	8068,9	プロテクト5B				
	〃 プロテクト6	先頭アドレス	100152,3	32874,5	806A,B	プロテクト6A				
		バイト数	100154,5	32876,7	806C,D	プロテクト6B				
	〃 プロテクト7	先頭アドレス	100156,7	32878,9	806E,F	プロテクト7A				
		バイト数	100160,1	32880,1	8070,1	プロテクト7B				
〃 プロテクト8	先頭アドレス	100162,3	32582,3	8072,3	プロテクト8A					
	バイト数	100164,5	32884,5	8074,5	プロテクト8B					
〃 プロテクト9	先頭アドレス	100166,7	32886,7	8076,7	プロテクト9A					
	バイト数	100170,1	32888,9	8078,9	プロテクト9B					
〃 プロテクトA	先頭アドレス	100172,3	32890,1	807A,B	プロテクトAA					
	バイト数	100174,5	32592,3	807C,D	プロテクトAB					

アドレス1D80～7FFF(H)、807E(H)～は通信禁止です。

※ DS-30PGおよびユーザープログラム、ハンディプログラマ(JW-14PG等)で、値の「読出/書込/クリア」

○……可能、×……不可能

「コピー」の読出/書込は、この「読出/書込」と同じです。

● DS-1PKのメモリ

メモリの領域名		アドレス			DS-30PGの表示メッセージ	バイト数	初期値(16進)	書込クリア	読出	
		8進(8)	10進(D)	16進(H)						
①データ領域		000000 ⋮ 000377	00000 ⋮ 00255	0000 ⋮ 00FF	データ	256	00	○		
シ ス テ ム 領 域	③IDコード	100100 ⋮ 100103	32832 ⋮ 32835	8040 ⋮ 8043	IDコード	4				
	④プレート 製造年月	製造月	100104	32836	8044	製造月				2
		製造年	100105	32837	8045	製造年				
	⑤通信動作回数		000106 ⋮ 100111	32738 ⋮ 32841	8046 ⋮ 8049	R/Wカウンタ	4	00	×	○
	⑥アクティブ積算時間1		000112 ⋮ 100115	32742 ⋮ 32845	804A ⋮ 804D	アクティブ1	4			
	⑦アクティブ積算時間2 (動作表示灯：点灯中)		100116 ⋮ 100121	32746 ⋮ 32849	804E ⋮ 8051	アクティブ2	4			
	⑧受信禁止時間		100122,3	32850,1	8052,3	受信禁止	2			
	⑨動作表示灯の点灯設定時間		100124	32852	8054	LED設定	1			
	⑩書込プロテクトの設定領域	システム領域プロテクト		100125	32853	8055	システムプロテクト	1	○	
		データ領域 プロテクト1	先頭アドレス	100126,7	32854,5	8056,7	プロテクト1A	16		
バイト数			100130,1	32856,7	8058,9	プロテクト1B				
〃 プロテクト2		先頭アドレス	100132,3	32858,9	805A,B	プロテクト2A				
		バイト数	100134,5	32860,1	805C,D	プロテクト2B				
〃 プロテクト3		先頭アドレス	100136,7	32562,3	805E,F	プロテクト3A				
		バイト数	100140,1	32864,5	8060,1	プロテクト3B				
〃 プロテクト4		先頭アドレス	100142,3	32866,7	8062,3	プロテクト4A				
	バイト数	100144,5	32868,9	8064,5	プロテクト4B					

アドレス0100～803F(H)、8066(H)～は通信禁止です。

※ DS-30PGおよびユーザープログラム、ハンディプログラマ(JW-14PG等)で、値の「読出/書込/クリア」  
○……可能、×……不可能  
「コピー」の読出/書込は、この「読出/書込」と同じです。

① データ領域、②フリー領域(DS-8PKのみ)

データ領域とフリー領域は、各種データを格納します。

③ IDコード

設定値は、4294967295(42億……)種類あります。

8進：1～3777777777(8)

10進：1～4294967295(D)

16進：1～FFFFFFFF(H)

[例] IDコードが123456(8)のとき

メモリアドレス	⋯⋯ 100103(8)	100102(8)	100101(8)	100100(8)
IDコード	⋯⋯	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	1 0 1 0 0 1 1 1
		0 0 0 0 0 0 0 0	1 2 3 4 5 6	0 0 1 0 1 1 1 0

#### ④ IDプレート製造年月

製造月は01～12(BCDコード)が1～12月に対応し、製造年は00～99(BCDコード)が西暦の下2桁に対応します。

##### IDプレートの製造月

[例] 9月のとき

メモリアドレス..... 100104(8)  
月..... 

0	0	0	0	1	0	0	1
0				9			

[例] 12月のとき

メモリアドレス..... 100104(8)  
月..... 

0	0	0	1	0	0	1	0
1				2			

##### IDプレートの製造年

[例] 2001年のとき

メモリアドレス..... 100105(8)  
年..... 

0	0	0	0	0	0	0	1
0				1			

#### ⑤ 通信動作回数

アンテナとIDプレート間の通信開始～通信終了までを1回としてカウントします。  
0～4294967295(D)(最大回数)

#### ⑥ アクティブ積算時間1

アンテナ～IDプレート間で通信動作しているとき、IDプレートはアクティブモードになります。このアクティブモードになっている時間を積算したもので、1～4294967295(D)msの範囲で格納します。

#### ⑦ アクティブ積算時間2(動作表示灯：点灯中)

IDプレートの動作表示灯が点灯している時間を積算したもので、1～4294967295(D)msの範囲で格納します。

#### ⑧ 受信禁止時間

アンテナ～IDプレート間の通信終了後、IDプレートがアンテナからの通信指令を全く受信しない時間(0～65535秒)を設定します。  
設定値0～65535(D)が0～65535秒に対応します。

#### ⑨ 動作表示灯の点灯設定時間

IDプレートの動作表示灯が点灯している時間(0.2～25.5秒)を設定します。  
設定値2～255(D)が0.2～25.5秒に対応します。

- ・点灯指示は、DS-30PG(IDインターフェイス部)のメモリアドレス110002(8)(9002(H))に設定します。
- ・DS-30PG本体の電源をOFFすると、初期設定(0.5秒=5(D))に戻ります。

⑩ 書込プロテクト

IDプレートのデータを不用意に書き換えないようにプロテクトする機能です。  
書込プロテクトの設定領域(メモリアドレス：100125(8)～)に、この設定を行います。

項目	内容																																
設定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ領域 「書込プロテクトの設定領域」に、プロテクトするデータを書き込んだ先頭アドレスとバイト数を設定。 【例】データ領域のアドレス12345～14343(8)の1023(1777(8))バイトのデータをプロテクト1に設定。</li> </ul> <p>メモリアドレス..... 100127(8)   100126(8)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td> </tr> </table> <p>先頭アドレス... 0   1   2   3   4   5</p> <p>メモリアドレス..... 100131(8)   100130(8)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td> </tr> </table> <p>バイト数..... 0   0   1   7   7   7</p>	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1	0	1																		
0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1																		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム領域 アドレス100125(8) (8055(H))にデータFF(H)を設定。</li> </ul>																																
設定対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ領域 DS-1PK：000000～000377(8) (0000～00FF(H)) DS-8PK：000000～016577(8) (0000～1D7F(H))</li> <li>システム領域：全領域（書込プロテクトの設定領域を除く）</li> </ul>																																
設定箇所	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ領域 DS-1PK：最大4か所（プロテクト1～4） DS-8PK：最大10か所（プロテクト1～A）</li> <li>システム領域：1ヶ所（全領域）</li> </ul>																																
設定解除	「書込プロテクトの設定領域」の該当箇所を「0」に設定																																

書込プロテクト設定した範囲に「書込／クリア／コピー」を行うと、プロテクトエラー(エラーコード030(8))が表示されます。

**留 意 点**

プロテクト1～9、Aはデータ領域のアドレス順に設定する必要はありません。(例1)  
また、書込プロテクト設定の範囲は重複できます。(例2)

アドレス(8) (例1)

00000	データ領域	
02100		
04000		
07777		

プロテクト2  
の設定範囲

プロテクト1  
の設定範囲

アドレス(8) (例2)

00000	データ領域	
02377		
06000		
11777		

プロテクト1  
の設定範囲

プロテクト2  
の設定範囲

- ・プロテクト2がプロテクト1より小さいアドレス範囲
- ・書込プロテクトの設定範囲は00000～11777になる。

〔2〕 I Dプレート(DS-8P)のメモリ

メモリの領域名		アドレス			DS-30PGの表示メッセージ	バイト数	書込クリア	読出	
		8進(8)	10進(D)	16進(H)					
①データ領域		0000 ⋮ 15777	0000 ⋮ 7167	0000 ⋮ 1BFF	データ	7168	○	○	
③通信禁止領域		16000 ⋮ 16777	7168 ⋮ 7679	1C00 ⋮ 1DFF	—	512	×	×	
シ ス テ ム 領 域	プロテクト1 設定	先頭アドレス	17000,1	7680,1	1E00,1	プロテクト1 A	40	○	○
		バイト数	17002,3	7682,3	1E02,3	プロテクト1 B			
	プロテクト2 設定	先頭アドレス	17004,5	7684,5	1E04,5	プロテクト2 A			
		バイト数	17006,7	7686,7	1E06,7	プロテクト2 B			
	プロテクト3 設定	先頭アドレス	17010,1	7688,9	1E08,9	プロテクト3 A			
		バイト数	17012,3	7690,1	1E0A,B	プロテクト3 B			
	プロテクト4 設定	先頭アドレス	17014,5	7692,3	1E0C,D	プロテクト4 A			
		バイト数	17016,7	7694,5	1E0E,F	プロテクト4 B			
	プロテクト5 設定	先頭アドレス	17020,1	7696,7	1E10,1	プロテクト5 A			
		バイト数	17022,3	7698,9	1E12,3	プロテクト5 B			
	プロテクト6 設定	先頭アドレス	17024,5	7700,1	1E14,5	プロテクト6 A			
		バイト数	17026,7	7702,3	1E16,7	プロテクト6 B			
	プロテクト7 設定	先頭アドレス	17030,1	7704,5	1E18,9	プロテクト7 A			
		バイト数	17032,3	7706,7	1E1A,B	プロテクト7 B			
プロテクト8 設定	先頭アドレス	17034,5	7708,9	1E1C,D	プロテクト8 A				
	バイト数	17036,7	7710,1	1E1E,F	プロテクト8 B				
プロテクト9 設定	先頭アドレス	17040,1	7712,3	1E20,1	プロテクト9 A				
	バイト数	17042,3	7714,5	1E22,3	プロテクト9 B				
プロテクトA 設定	先頭アドレス	17044,5	7716,7	1E4,5	プロテクトA A				
	バイト数	17046,7	7718,9	1E26,7	プロテクトA B				
②フリー領域		17050 ⋮ 17057	7720 ⋮ 7727	1E28 ⋮ 1E2F	フリー領域	8			
⑤ I Dコード領域		17060,1	7728,9	1E30,1	I Dコード	2			
⑥電池寿命 情報領域	I Dプレートの製造月	17062	7730	1E32	製造月	1			
	I Dプレートの製造年	17063	7731	1E33	製造年	1			
	I Dプレート の通信回数	17064 ⋮ 17066	7732 ⋮ 7734	1E34 ⋮ 1E36	R/Wカウンタ	4	×		
		常時00(H)	17067	7735					1E37
③通信禁止領域		17070 ⋮ 17777	7736 ⋮ 8191	1E38 ⋮ 1FFF	—	456		×	

※ DS-30PGおよびユーザープログラム、ハンディプログラマ(JW-14PG等)で、値の「読出／書込／クリア」 ○……可能、×……不可能

① データ領域、②フリー領域

データ領域とフリー領域は、各種データを格納します。

③ 通信禁止領域

IDプレートの自己処理データを格納します。この領域のデータは、読出・書込・クリアが禁止です。

④ 書込プロテクト設定領域

IDプレートのデータを不用意に書き換えないようにプロテクトする機能です。  
設定内容は、DS-8PKと同様です。

⑤ IDコード領域

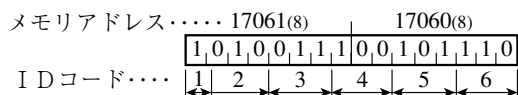
IDコードを下記範囲で設定します。

8進：1～17777(8)

10進：1～65535(D)

16進：1～FFFF(H)

[例] IDコードが123456(8)のとき



⑥ 電池寿命情報領域

電池寿命情報領域は、IDプレートの「製造年月」および「通信回数(128バイト/回換算)」を格納します。

メモリの領域名	アドレス			格納領域	バイト数
	8進(8)	10進(D)	16進(H)		
電池寿命情報領域	17062	7730	1E32	・ IDプレートの製造月 [BCDコード01～12が] [1月～12月に対応]	1
	17063	7731	1E33	・ IDプレートの製造年 [BCDコード00～99が] [西暦の下2桁に対応]	1
	17064 17065 17066	7732 7733 7734	1E34 1E35 1E36	・ IDプレートの通信回数 (128バイト/回換算)	3
	17067	7735	1E37	・ 常時00(H)	1

・ 格納領域の内容は、DS-8PKと同様です。



### [ 3 ] DS-30PG( I D インターフェイス部)のメモリ

I D プレートDS-1PK/8PK(アンテナDS-1AKH)と通信する場合、DS-30PG( I D インターフェイス部)のメモリ(下記)を使用します。

メモリの領域名		アドレス			DS-30PGの表示メッセージ	バイト数	初期値(16進)		
		8進(8)	10進(D)	16進(H)					
バッファ領域(プレート用)		( I D プレートと同じ)			—	—	—		
シ ス テ ム 領 域	①通信制限時間	110000	36864	9000	制限時間	1	00		
	②動作表示灯の設定	プレート動作表示灯の点灯フェーズ	110002	36866	9002	P-LEDシヨウ		1	
		アンテナ動作表示灯の点灯設定時間	110003	36867	9003	L E D 設定		1	05
	無線媒体選択 (内容：00(H)=マイクロ波)		110004	36864	9004	無線媒体	1	00	
	③通信時間履歴 (実績)	動作回数	110240	37024	90A0	R/Wカウンタ	4		
			∴	∴	∴				
		現在値	110243	37027	90A3	時間-NOW	4		
			∴	∴	∴				
		平均値	110244	37028	90A4	時間-AVE	4		
	∴		∴	∴					
	最大値	110247	37031	90A7	時間-MAX	4			
		∴	∴	∴					
	最小値	110250	37032	90A8	時間-MIN	4			
		∴	∴	∴					
	④リトライ回数履歴 (実績)	動作回数	110253	37035	90AB	R/Wカウンタ	4		
			∴	∴	∴				
現在値		110300	37056	90C0	カウンターNOW	2			
∴		∴	∴						
平均値		110303	37059	90C3					
∴	∴	∴							
最大値	110304,5	37060,1	90C4,5	カウンターAVE	2				
∴	∴	∴	∴	∴	∴				
最小値	110306,7	37062,3	90C6,7	カウンターMAX	2				
∴	∴	∴	∴	∴	∴				
⑤異常履歴	履歴登録ポインタ	110310,1	37064,5	90C8,9	履歴ポインタ	2	9102		
		∴	∴	∴					
	異常履歴内容	110312,3	37066,7	90CA,B			(詳細：6・39ページ)	3200	00
	∴	∴	∴						
∴	110400	37120	9100						
∴	110401	37121	9101						
∴	110402	37122	9102						
∴	∴	∴	∴						
∴	116601	40321	9D81						

・下記アドレスは予約領域で通信禁止です。

110001(8)、110264～110277(8)、110314～110377(8)

① 通信制限時間

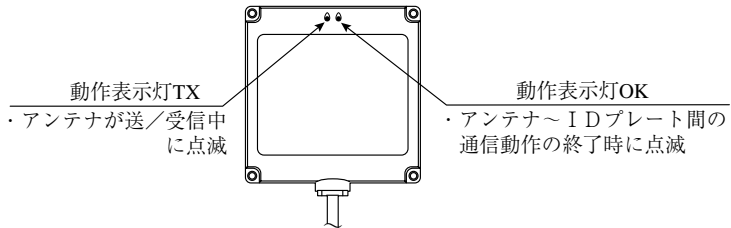
I Dプレート (DS-1PK/8PK)との通信制限時間を変更できます。

プレート検出方法	通信制限時間= 0	通信制限時間> 0
(プレート検知時間) 制限法式	・通信制限時間が固定 (通信開始～終了まで)	・通信制限時間が可変 (通信開始～終了まで)
(プレート検知時間) 無制限法式	・I Dプレートを検出以降の通信制限時間が固定	・I Dプレートを検出以降の通信制限時間が可変

② 動作表示灯の設定

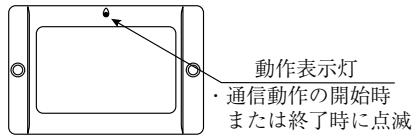
アンテナ (DS-1AKH)、I Dプレート (DS-1PK/8PK)の動作表示灯 (LED)により通信動作の開始/終了を確認できます。

● アンテナ (DS-1AKH)



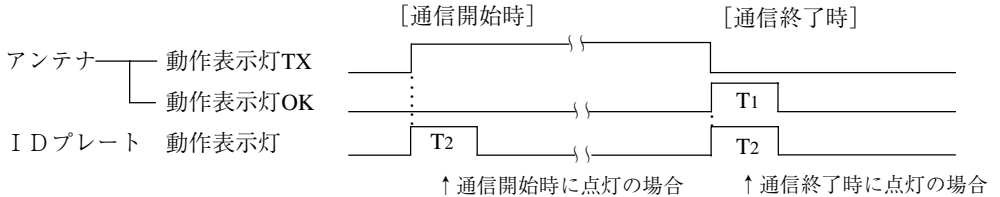
設定項目	設定領域	設定内容
動作表示灯OKの点灯時間 T1	DS-30PGのメモリアドレス 110003(8) (9003(H))	0～25.5秒 (初期値: 0.5秒) [例] 255(D)→25.5秒

● I Dプレート (DS-1PK/8PK)

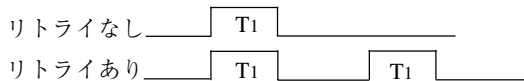


設定項目	設定領域	設定内容
点灯時間 T2	I Dプレートのメモリアドレス 110124(8) (8054(H))	0.2～25.5秒 (初期値: 0秒) [例] 255(D)→25.5秒
点灯指示	DS-30PGのメモリアドレス 110002(8) (9002(H))	00(H) … 非点灯 01(H) … 通信開始時に点灯 FF(H) … 通信終了時に点灯

● 動作表示灯の点灯タイムチャート



・通信でリトライ発生時、アンテナの動作表示灯OKは2回点灯します。



### ③ 通信時間履歴

アンテナ～I Dプレート間の通信開始から終了までの処理時間が、DS-30PGのメモリアドレス110240～110260(8)に登録されます。この処理時間は現在値・平均値・最大値・最小値に分類されます。

最大値・最小値・平均値は、「DS-30PG本体の電源OFF」または「オプション機能のメモリ初期化」で初期化できます。他の操作では書き込めません。

メモリの領域名		内容		
		通信時間測定前	通信時間測定後	格納データ
通信時間履歴 (実績)	動作回数	$N'$	$N = N' + 1$	0～4294967295(D)回
	現在値	$T1'$	$T1$	0～4294967295(D)ms
	平均値	$T2'$	$T2 = \frac{(T2' \times N') - T1}{N' + 1}$	
	最大値	$T3'$	$T3' \geq T1$ : 最大値 = $T3'$ $T3' < T1$ : 最大値 = $T1$	
	最小値	$T4'$	$T4' \leq T1$ : 最小値 = $T4'$ $T4' > T1$ : 最小値 = $T1$	

### ④ リトライ回数履歴

アンテナ～I Dプレート間の通信開始から終了するまでに要した通信回数で、2回目以降の回数がリトライ回数となります。(例. 3回目の通信で終了したとき、リトライ回数は2回。)

値・平均値は「DS-30PG本体の電源OFF」または「オプション機能のメモリ初期化」で初期化できます。他の操作では書き込めません。

メモリの領域名		内容		
		通信時間測定前	通信時間測定後	格納データ
リトライ回数履歴 (実績)	動作回数	$N'$	$N = N' + 1$	0～4294967295(D)回
	現在値	$R1'$	$R1$	0～65535(D)回
	平均値	$R2'$	$R2 = \frac{(R2' \times N') - R1}{N' + 1}$	
	最大値	$R3'$	$R3' \geq R1$ : 最大値 = $R3'$ $R3' < R1$ : 最大値 = $R1$	
	最小値	$R4'$	$R4' \leq R1$ : 最小値 = $R4'$ $R4' > R1$ : 最小値 = $R1$	

⑤ 異常履歴

通信動作の結果が異常の場合、異常履歴がDS-30PGのメモリアドレス110400～116575(8)に登録されます。

- ・異常内容は、「履歴登録ポインタ」(アドレス：110400、110401(8))に設定されている履歴先頭アドレスに+32バイトしたアドレスに登録。
- ・異常内容登録後、「履歴登録ポインタ」の履歴先頭アドレスは更新(+32バイト)。
- ・履歴登録ポインタの初期値は110402(8)(9102(H))。
- ・異常履歴領域は、「DS-30PG本体の電源OFF」または「オプション機能のメモリ初期化」で初期化が可能。
- ・履歴データ100の次は履歴データ1から登録が更新。

項目	バイト数	詳細項目	先頭アドレス	DS-30PGの表示メッセージ	バイト数	
			16進(H)			
履歴登録ポインタ	2	最新の異常登録した履歴データの先頭アドレス	9100	履歴ポインタ	2	
履歴データ1	32	予約領域 (00H固定)	9102	システム	6	
		エラーコード	9108	エラー	1	
		エラー付属情報	9109	付属	6	
		実行内容	動作	910F	動作	1
			属性	9110	開始	1
			IDコード	9111	ID	4
			先頭アドレス	9115	アドレス	2
			バイト数	9117	バイト	2
		転送先先頭アドレス	9119	転送先	2	
		プレートなしエラー	911B	エラー40	1	
		調歩同期エラー	911C	エラー41	1	
		最終データ受信タイムアウト	911D	エラー42	1	
		バイトカウンタエラー	911E	エラー43	1	
		サムチェックエラー	911F	エラー44	1	
		文法エラー	9120	エラー45	1	
		予備	9121		1	
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	
履歴データ100	32	予約領域 (00H固定)	9D62	システム	6	
		エラーコード	9D68	エラー	1	
		エラー付属情報	9D69	付属	6	
		実行内容	動作	9D6F	動作	1
			属性	9D70	開始	1
			IDアドレス	9D71	ID	4
			先頭アドレス	9D75	アドレス	2
			バイト数	9D77	バイト	2
		転送先先頭アドレス	9D79	転送先	2	
		プレートなしエラー	9D7B	エラー40	7	
		調歩同期エラー	9D7C	エラー41	1	
		最終データ受信タイムアウト	9D7D	エラー42	1	
		バイトカウンタエラー	9D7E	エラー43	1	
		サムチェックエラー	9D7F	エラー44	1	
		文法エラー	9D80	エラー45	1	
		予備	9D80		1	

# 第 7 章

# 異常と対策

## 〔1〕エラーコード

異常が発生時のエラーコードにより、異常の内容を確認し、対策を行ってください。

### (1) DS-IPK/8PK(DS-1AKH)を使用時のエラーコード

分 類	エラーコード		エラー名	内 容		
	16進数	8進数				
設定異常	10	020	通信コードエラー	通信コードの設定が正しくない		
	11	021	属性エラー	属性コードが正しくない		
	12	022	先頭アドレスエラー	先頭アドレスが正しくない		
	13	023	バイト数エラー	バイト数値が正しくない		
	14	024	転送先先頭アドレスエラー	転送先先頭アドレスが正しくない		
	18	030	プロテクトエラー	プロテクト設定した範囲にデータを書き込もうとした		
DS-30PG 異常	20	040	アンテナ接続なし	・アンテナが接続されていない ・ID延長ケーブルの断線		
	3D	075	電池電圧低下警告	本体の電池が消耗している		
プレート 異常	30	060	RAM異常	RAMチェックした範囲でIDプレートのRAMに異常あり		
	31	061	ROM異常	IDプレートのROM異常		
	34	064	ブロックチェックエラー	「読出」、「ブロックチェック」時にIDプレートのデータがなんらかの要因で変化した		
	35	065	(コピー先) ブロックチェックエラー	照合付きコピーのコピー先読み出し時に、IDプレートのデータがなんらかの要因で変化した		
	36	066	ID照合エラー	IDコード指定動作で、指定したIDコードと受信したIDコードの照合異常		
	37	067	(コピー先) ID照合エラー	コピー先のIDコード指定動作で、指定したIDコードと受信したIDコードの照合異常		
	3A	072	電池電源低下警告 ※1	IDプレート内蔵の電池の電圧異常		
通信異常 (アンテナ～ IDプレート間)	※2	40	100	プレートなしエラー	・アンテナとの通信エリア内にIDプレートが存在しない ・IDコード指定動作で、アンテナとの通信エリア内に指定したIDコードの登録したIDプレートが存在しない	
		41 (49)	101 (111)	調歩同期エラー	パリティエラー／オーバーランエラー／フレームエラーのいずれか	
		42 (4A)	102 (112)	最終データ受信タイムアウト	—————	
		43 (4B)	103 (113)	バイトカウンタエラー	バイトカウンタコードの異常	
		44 (4C)	104 (114)	サムチェックエラー	—————	
		45 (4D)	105 (115)	文法エラー	伝文上のコード異常	
		46 (4E)	106 (116)	制限時間オーバー	—————	
		47	107	照合エラー	照合付動作でデータの照合異常	
		48	110	(コピー先) プレートなしエラー	・アンテナとの通信エリア内にIDプレートが存在しない ・IDコード指定動作で、アンテナとの通信エリア内に指定したIDコードの登録したIDプレートが存在しない	
		4F	117	(コピー先) 照合エラー	照合付動作でデータの照合異常	
		50	120	プレートなしエラー	照合機能 のみの場合	
		55	125	文法エラー		2回目の通信で文法エラー
		56	126	制限時間オーバー		2回目の通信で制限時間オーバー
		58	130	(コピー先) プレートなしエラー	コピー& 照合の場合	
		5D	135	文法エラー		コピー先の2回目の通信でプレートなし
5E	136	制限時間オーバー	コピー先の2回目の通信で文法エラー			
			コピー先の2回目に通信で制限時間オーバー			

※1 通信時間が自己診断・電池寿命チェックの場合です。

※2 エラーコードの ( ) 値は、「コピー」動作時にコピー先でのエラーを表示します。

(2) DS-8P(DS-1AH)を使用時のエラーコード

分 類	エラーコード		エラー名	内 容
	16進数	8進数		
設定異常	41	101	バイト数エラー	設定した通信バイト数が、IDプレートのメモリで通信ができない範囲になっている
	42	102	アドレスエラー	設定した先頭アドレスが、IDプレートのメモリで通信できないアドレスになっている
	51	121	IDコードミスエラー	「時間制限+IDコード指定あり」で、IDコードを書き込んでいないIDプレートと通信した。「IDコード指定あり」で設定時のIDコードが「0」である
	58	130	書込プロテクトエラー	書込プロテクト設定した範囲に、データを書き込もうとした
DS-30PG異常	A0	240	アンテナなしエラー	・アンテナを接続していない ・アンテナケーブルが断線
プレート異常	4D	115	ブロックチェックエラー	「読出/ブロックチェック」のとき、データがなんらかの外部要因で変化していた
	4E	116	照合エラー	「読出/書込」で「照合あり」のとき、照合データが不一致
	60	140	自己診断エラー (RAMエラー)	「自己診断」でIDプレートのRAM異常を発見
	61	141	自己診断エラー (ROMエラー)	「自己診断」でIDプレートのROM異常を発見
通信異常 (アンテナ～ IDプレート間)	48	110	プレートなしエラー	・通信開始時、アンテナとの通信エリア内にIDプレートが存在しない ・「IDコード指定あり」でIDコードの指定が「0」である

[2] その他のエラー

「I/Fと通信ができません」が表示された場合は、DS-30PG本体の電源(POWER)スイッチを「OFF→ON」すると復旧できます。



〔2〕 アンテナ (DS-1AH/1AKH)

項 目		仕 様	
		DS-1AH	DS-1AKH
送受信周波数		2.45GHz	
送信電力		0.18mW (−7.4dBm)	0.3mW (−5.2dBm)
データ 伝送速度	アンテナ ～IDプレート間	19.2kbps	76.8kbps
	アンテナ ～DS-30PG間	19.2kbps	76.8kbps
電波到達距離		最大300mm	最大200mm
アンテナ～IDプレート間 推奨使用距離		0～100mm	
隣接アンテナ間距離 ※		最小400mm (100mm)	
隣接IDプレート間距離 ※		最小200mm (100mm)	
付属ケーブル		耐油性ロボットケーブル(耐屈曲性)、ケーブル長300mm	
使用周囲温度		−20～70℃ (DS-30PGに装着時、0～40℃)	
保存温度		−20～70℃ (DS-30PGに装着時、0～40℃)	
耐振動		JIS C0040 <sup>1987</sup> 準拠 (10～55Hz、複振幅0.7mm、各軸2時間)	
耐衝撃		JIS C0041 <sup>1987</sup> 準拠 (490m/s <sup>2</sup> 、11ms、各軸両方向3回)	
保護構造		IEC規格 IP-65 (防塵、防噴流形)	
外周部材質		ガラス繊維強化PBT樹脂 (耐油、耐溶剤)	
外形寸法 (mm)		横100×縦100×厚さ35	
質量		約450g	約600g
付属品		技術基準適合証明証書 1枚	

※ アンテナ～IDプレート間の距離が( )値の場合です。

・外形図は、4・3ページを参照願います。



## 改訂履歴

版、作成年月は表紙の右上に記載しております。

版	作成年月	改訂内容
初版	2001年6月	—————
改訂1.1版	2002年5月	・「使用上のご注意」と「充電方法」に説明を追記 ・アンテナの角度に、傾き135°を追加

● 商品に関するお問い合わせ先／ユーザーズマニュアルの依頼先

シャープマニファクチャリングシステム(株)

仙台営業所	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3丁目1番27号	☎ (022) 288-9275
首都圏営業部	〒162-8408	東京都新宿区市谷八幡町8番地	☎ (03) 3267-0466
中部営業部	〒454-0011	名古屋市中川区山王3丁目5番5号	☎ (052) 332-2691
豊田営業所	〒471-0833	豊田市山之手8丁目124番地	☎ (0565) 29-0131
近畿営業部	〒581-8581	大阪府八尾市跡部本町4丁目1番33号	☎ (0729) 91-0682
広島営業所	〒731-0113	広島市安佐南区西原2丁目13番4号	☎ (082) 875-8611
福岡営業所	〒816-0081	福岡市博多区井相田2丁目12番1号	☎ (092) 582-6861

● 修理・消耗品についてのお問い合わせ先

シャープドキュメントシステム(株)

札幌 技術センター	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7丁目3番17号	☎ (011) 641-0751
仙台 技術センター	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3丁目1番27号	☎ (022) 288-9161
宇都宮 技術センター	〒320-0833	宇都宮市不動前4丁目2番41号	☎ (028) 634-0256
前橋 技術センター	〒371-0855	前橋市問屋町1丁目3番7号	☎ (027) 252-7311
東京フィールド サポートセンター	〒114-0012	東京都北区田端新町2丁目2番12号	☎ (03) 3810-9962
横浜 技術センター	〒235-0036	横浜市磯子区中原1丁目2番23号	☎ (045) 753-9540
静岡 技術センター	〒422-8006	静岡市曲金6丁目8番44号	☎ (054) 283-9497
名古屋 技術センター	〒454-0011	名古屋市中川区山王3丁目5番5号	☎ (052) 332-2671
金沢 技術センター	〒921-8801	石川県石川郡野々市町字御経塚町1096の1	☎ (076) 249-9033
大阪フィールド サポートセンター	〒547-8510	大阪市平野区加美南3丁目7番19号	☎ (06) 6794-9721
岡山 技術センター	〒701-0301	岡山県都窪郡早島町大字矢尾828	☎ (086) 292-5830
広島 技術センター	〒731-0113	広島市安佐南区西原2丁目13番4号	☎ (082) 874-6100
高松 技術センター	〒760-0065	高松市朝日町6丁目2番8号	☎ (087) 823-4980
松山 技術センター	〒791-8036	松山市高岡町178の1	☎ (089) 973-0121
福岡 技術センター	〒816-0081	福岡市博多区井相田2丁目12番1号	☎ (092) 572-2617

・上記の所在地、電話番号などは変わることがあります。その節はご容赦願います。

**シャープマニファクチャリングシステム株式会社**

本 社 〒581-8581 大阪府八尾市跡部本町4丁目1番33号

● インターネットホームページによるシャープ制御機器の情報サービス  
<http://www.sharp.co.jp/sms/>

お客様へ……お買いあげ日、販売店名を記入されますと、修理などの依頼のときに便利です。

お買いあげ日	年	月	日
販売店名			
	電話 ( )	局	番

0NH//TORISETU  
 02E 0.1 O①  
 2002年5月作成